

# 令和3年度事業報告

## 1. 総括

令和3年度も、新型コロナウイルスの感染拡大に伴い、事業の中止や開催時にも、時間の短縮や人員の制限など感染予防を徹底するなど、本会の事業実施に大きな影響を受けた。

特に、新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けられた方への支援が重要な課題となり、年間を通じて生活福祉資金特例貸付や相談支援事業の対応に迫られた。

令和3年度から新たに受託した「多機関の協働による包括的支援体制構築事業」では、市役所福祉支援課内に「福祉の総合相談窓口」を設置して、多岐にわたる相談を受け相談支援を行った。この事業では、複雑化・複合化した課題を抱える世帯への相談支援として、様々な相談機関と連携を行いながら相談者の自立支援につながるよう努めた。

小地域福祉活動においては、コロナ禍での活動にあたり、感染予防や活動の方法などの相談支援を行い、見守り活動やサロン活動での工夫が見られた。

介護保険事業等においても、毎月開催する管理者会議で対応について協議を行い、利用者や職員へ感染拡大の前に注意喚起の文書を配布し、また福岡県からの感染予防用具や抗原検査キットの配布を活用し感染拡大防止に努めた。しかしながらウィルス感染の陽性者は散見されたが、集団感染（クラスター）はなく感染拡大は防止できた。

また、福岡県「介護職チームケア実践力推進事業」のモデル事業（福岡県下4事業所）を受けて、コンサルタントを通じて介護現場の多様な働き方を実現するための取り組みとして、業務切り分け実務の実施や事業所のPR方法や職員採用の指導を受けて、結果的に職員の雇用や利用者の増加につながった。

福岡県社会福祉協議会の地域共生社会実現のためのモデル事業として、ひきこもり支援に取り組んだ。福祉の総合相談窓口や市社協の丸ごと相談で、ひきこもり当事者やその家族の支援として、講演会や相談会を開催して、その後に「ひきこもり家族のつどい」を開催して相談支援に努めた。

## (1) 小地域福祉活動の推進

小地域福祉活動の推進ではコロナ禍での活動となるために、感染予防に留意しての訪問活動の実施や通いの場の実施を推進した。コロナ禍の期間が長引き、高齢者等の生活や健康状態に大きく影響が生じてきており、コロナ禍での訪問活動や、通いの場などの重要性を感じた。

校区社協の取り組みでも、一人暮らし高齢者の集いの中止や子育て支援事業の中止など影響を受けた。その中でも、コロナ禍で人との接触が減少した今だからこそ、見守り活動についての必要性を再確認のうえ、工夫を凝らした活動が実施された。

見守り活動等を積極的に行ってもらっている民生委員児童委員や福祉委員からの相談を受け、感染拡大防止に留意した活動となるように支援を行った。

小地域ネットワーク福祉会の活動支援として、各福祉会に活動状況のアンケート調査を実施して、連絡会を開催して情報共有に努めた。福祉会での見守り活動は実施できるが、人が集まる事業については実施が困難で、認知機能の低下などの課題を抱えた住民の方への直接的な支援が必要となってきた。

## (2) 包括的支援体制の整備推進

令和3年度より、多機関の協働による包括的支援体制構築事業の受託により、市役所福祉支援課内に、「福祉の総合相談窓口」を設置し、生活困窮者自立支援事業と連携を行い、様々な福祉に関する相談を受けた。相談内容に応じて、関係相談機関と連携を行い相談者の自立に向けた支援を実施した。

また、重層的支援体制整備事業の移行準備事業として、多機関の協働による包括的支援体制整備事業と地域力強化推進事業（参加支援事業とアウトリーチ等継続的支援事業）が連携し、相談者の自立支援に向けた支援となるように努めた。

相談支援体制の構築として、子育て支援団体との連絡会議を開催し、それぞれの活動の情報共有や市民からの寄付金等の調整を行った。

我が事・丸ごと研究大会では「ぬくもり～あなたに届けたいものがあります～」をテーマに、コロナ禍でのボランティア活動の発表を行い、参加者にも自分が出

来る活動はないかグループワークを通して情報共有を行った。

### (3) 地域包括ケアシステムの深化・推進

生活支援体制整備事業の推進については、第 2 層の生活支援コーディネーター（SC）が各圏域の地域包括支援センターに設置され、地域課題の把握や社会資源の把握ができ、より一層の事業推進ができた。地域ささえあい会議についても、第 2 層 SC が校区社協等と連携して会議の運営に努めた。市社協としても第 1 層 SC とコミュニティソーシャルワーカー（CSW）と連携し会議の推進に努めた。

あんしん生活サポート事業では、地域包括支援センターとの連携が強化され、事業の周知がすすみ利用者の増加につながっている。サポーター養成を目的として講座を毎年開催しているが、今年度は 59 名が受講し、44 名が修了した。新たに 29 名が登録し、サポーター登録者数は 225 名となった。生活支援の実績数もゴミ出し支援や買い物支援など年間 800 件と増加している。

生活支援体制整備事業では、市介護・高齢者支援課と市社協とで定例会を実施し、推進協議会運営や事業の進捗状況の確認及び方向性の確認を行いながら、事業の推進に努めた。

### (4) ボランティア活動・福祉教育の充実

ボランティアセンター事業では、糸島市社協ボランティア連絡協議会会員の 30 団体に対してコロナ禍での相談支援を行った。コロナ禍で活動意欲の低下がみられるので、団体間の交流促進により会員が元気づくような事業を代表者会議で検討された。「社協ボラ連交流会」を計画したが、コロナ禍により開催できなかった。

市民向け講座は、地域課題である高齢者の移動支援について講習会を開催し、市民による送迎ボランティアの育成を目指した。今後もボランティア活動につながるように支援を行いたい。

また、福祉教育の充実に向け福祉教育プログラム集の作成について協議し、糸島市ボランティア派遣事務局と連携し市内の小中学校等での活用に向け、調整を行った。

## (5) 安定した介護保険事業等の運営

新型コロナウイルスの感染や濃厚接触者などにより、職員の就業が困難な状況が生じたり、休業をしなくてはならなかったりと、事業の運営に支障をきたしたが、市内の医療機関と連携を図り早急な対応を行った。

安定した介護保険事業、障害福祉サービス事業の運営を維持するため、事業所管理者や管理職で組織する管理者会議を毎月実施して、新型コロナウイルス対策や各事業所の運営状況の情報共有を図った。

また、国の「コロナ克服・新時代開拓のための経済対策」として、「介護職員処遇改善支援補助金」や「福祉・介護職員処遇改善支援事業費補助金」を活用し、処遇改善給や業務手当の新設と増額などを行い、介護職員の離職防止及び確保に努めた。

## (6) 財政運営の適正化

令和3年度の一般会計資金収支決算は、事業活動による収入8億397万円、事業活動による支出7億6,042万円で、事業活動資金収支差額4,355万円となり、施設整備等による支出83万円と全国社協の退職積立金や福祉積立金を含むその他の支出1,050万円を差し引いた当期資金収支差額は3,222万円となった。

収入の内訳では、会費（地域ささえあい費、賛助会費など）、寄付金の自主財源収入542万円（0.7%）、共同募金配分金収入1,405万円（1.8%）、市補助金7,163万円（8.9%）、受託金（利用料含む）が2億2,937万円（28.5%）、介護保険事業等収入（利用料を含む）4億7,750万円（59.4%）、福岡県モデル事業助成金、県社協モデル事業助成金、ボランティア活動保険助成金、福祉金庫償還金、実習受入謝礼等収入が599万円（0.7%）であった。

支出の内訳は、人件費支出5億676万円（66.6%）、事業費支出1億75万円（13.3%）、事務費支出1億2,811万円（16.8%）、助成金支出2,331万円（3.1%）、その他、負担金、福祉金庫貸付金148万円（0.2%）であった。

収入に関しては、前年度と比較して3,729万円増加し、支出は、106万円の増加となり、当期資金収支差額は、前年度の1,605万円から、今年度は3,222万

円まで改善することができた。

収入増加の要因として、市補助金の見直しによる増額や新たに受託した事業の体制強化による市受託事業の増額、コロナ禍の影響を受けた令和2年度から利用実績の改善による介護事業収入の増額がある。

支出に関しては、新規事業等による人件費及び事業費の増加はあったものの、事務費の削減等もあり抑えることができた。

#### (7) 生活困窮者支援・権利擁護の充実

市役所の福祉支援課内に設置する福祉の総合相談窓口では、「多機関の協働による包括的支援体制構築事業」と「生活困窮者自立相談支援事業」とが連携し、複雑化・複合化した課題を持つ世帯への相談支援に対応した。

令和3年度は令和4年度から実施される重層的支援体制整備事業の移行事業として、他の相談支援機関との連携強化を図るため取り組みを行った。

一方、あごろでも移行事業である地域力強化推進事業を「参加支援事業」と「アウトリーチ等を通じた継続的支援事業」として相談支援を行った。

また、JA系島女性部及びフードバンク系島Happinessと連携し生活に困窮される世帯への支援としてフードパントリー（食品の無償提供）を実施し、支援を行い、必要に応じ相談機関の紹介等を行った。

権利擁護の充実では、判断能力の低下等で日常生活に支障のある方が増加し相談の受付件数も増加している。必要に応じて市民後見人養成講座の修了者に日常生活自立支援事業の市民支援員として活動してもらった。

また、系島市における市民後見の推進に関し、継続的に市民後見推進検討委員会において市民後見人の活動の場の検討を行い、相談に応じた支援ができるよう体制の構築に向けて取り組んだ。

## 2. 法人関係

(1) 理事会・評議員会の開催 理事会3回 評議員会3回 監査1回

【理事会】(定数10人)

開催月日	出席	議案事項
第1回理事会 (令和3.6.3)	10人 監事2人	1 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会令和2年度事業報告について 2 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会令和2年度決算及び監査報告について 3 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償等に関する規程の一部改正について 4 任期満了に伴う理事・監事候補者の選任について 5 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会定款施行細則の一部改正について 6 任期満了に伴う評議員選任候補者の推薦について 7 任期満了の伴う評議員選任・解任委員の選任について 8 定時評議員会の日時・場所及び議題等について
第2回理事会 (令和3.6.24)	10人 監事1人	9 会長、副会長の選定について
第3回理事会 (令和3.12.9)	9人 監事2人	10 令和3年度第1次補正予算について 11 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会「福祉金庫」徴収不能債権の欠損処分について 12 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会電子取引データの訂正及び削除の防止に関する事務処理規程の制定について 13 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会定款施行細則の一部改正について 14 令和3年度第2回評議員会の日時・場所及び議題等について
第4回理事会 (令和4.3.17)	10人 監事2人	15 令和3年度第2次補正予算について 16 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償等に関する規程の一部改正について 17 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会総合職職員の給与に関する規程の一部改正について 18 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会一般職職員の給与に関する規程の一部改正について 19 令和4年度事業計画について 20 令和4年度資金収支予算について 21 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会事務局規程の一部改正について 22 令和3年度第3回評議員会の日時・場所及び議題等について

【監査】(定数2人)

開催月日	出席	議案事項
令和3.5.24	2人	決算監査 令和2年度事業及び会計状況の監査

【評議員会】(定数21人)

開催月日	出席	議案事項
第1回評議員会 (定時評議員会) (令和3.6.24)	20人 監事1人	1 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会令和2年度事業報告について 2 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会令和2年度決算及び監査報告について 3 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償等に関する規程の一部改正について 4 任期満了に伴う理事・監事の選任について

第2回評議員会 (令和 4.12.17)	21 人	5 令和3年度第1次補正予算について 6 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会「福祉金庫」徴収不能債権の欠損処分について
第3回評議員会 (令和 4.3.25)	19 人	7 令和3年度第2次補正予算について 8 社会福祉法人糸島市社会福祉協議会役員等の報酬及び費用弁償等に関する規程の一部改正について 9 令和4年度事業計画について 10 令和4年度資金収支予算

## (2) 会費

◆行政区を通して協力いただく一般会費（ささえあい費）と行政区長会や民生委員児童委員協議会、市役所職員、市社協役職員などに協力いただく賛助会費、団体等からの特別会費の協力をいただいているが、自主財源確保のために新たに「社会福祉法人への寄付金の税額控除制度」の対象法人として、糸島市からの証明を受けている。

・会費収入 3,108,732円（参考：令和2年度3,130,770円）

①一般（地域ささえあい費）23,807口 2,380,732円 ②賛助会費 698口 698,000円

③特別会費 6口 30,000円

（一般 100円 賛助 1,000円 特別 5,000円）

区 分	金 額		
	参考(令和2年度)	参考(令和元年度)	参考(30年度)
一般（ささえあい費）	2,373,770円	2,358,688円	2,346,170円
賛助会費	727,000円	756,000円	747,000円
特別会費	30,000円	110,000円	100,000円

## (3) 寄付金

◆寄付金については、減少により厳しい状況が続いている。寄付金増収のために、会費同様に税額控除の法人として、糸島市からの証明を受けた。

・寄付金収入 93件：2,314,128円

【内訳】

香典返し 62件：1,561,000円

一般寄付 31件：753,128円

区 分	参考(令和2年度)		参考(令和元年度)		参考(30年度)	
	件数	金額	件数	金額	件数	金額
香典返し	58件	1,215,000円	76件	2,080,000円	79件	1,953,000円
初盆返し	2件	70,000円	1件	10,000円	3件	100,000円
一般寄付	30件	556,631円	16件	571,103円	16件	882,810円

#### (4) 会議及び社協職員研修

- ・課長会議 12回開催
- ・衛生委員会 8回開催（原則毎月開催、コロナ禍で回数減少）
- ・人権学習 ※コロナ禍により人権教育読本を全職員へ配布
- ・糸島市人権・同和研究大会（コロナ禍により中止）
- ・災害ボランティアセンター設置運営訓練 令和3年12月23日（木）  
参加者：糸島青年会議所、ライオンズクラブ、市福祉支援課、市危機管理課、社協  
49人
- ・災害ボランティア連絡会 令和3年12月23日（木）  
参加者：糸島青年会議所、市福祉支援課、市危機管理課、社協 14人  
※災害ボランティアセンター設置運営訓練終了後に開催



### 3. 住民参加による小地域福祉活動事業

#### (1) 校区社会福祉協議会の活動助成と連携

校区名	主な事業内容
波多江	理事会、会計監査、総会、地域ささえあい会議、広報委員会、福祉だより「福祉の窓」発行（年/2回）、理事研修会、ふれあい事業（マスク・お茶・餅・弁当など配布による見守り年/5回）
東 風	理事会、会計監査、総会（書面）、地域ささえあい会議、福祉だより「福祉の羽衣」発行（年/2回）、ふれあい弁当配布（年1回）、ふれあい餅配付（年1回）、単身高齢者世帯訪問（年3回）、75歳以上高齢者世帯訪問（年3回）、役員会（年8回）、合同委員会（年3回）、一人暮らしふれあいの集い（中止のためお菓子・除菌シート配布）
前 原	理事会、会計監査、総会、地域ささえあい会議、広報委員会、役員会（年5回）、福祉だより発行（年3回）、校区社協研修会、前原ふれ愛の会（中止のため弁当配布）、すまいる広場、一人暮らし高齢者見守り事業（ごみ袋配布/2回）
前原南	総会（書面）、役員会（年3回）、会計監査、地域ささえあい会議、福祉だより「南天」発行（年3回）、一人暮らし高齢者定期巡回（年6回）と定期訪問（年2回）
南 風	理事会、会計監査、総会、地域ささえあい会議、社協だより発行（年2回）、推進会議（年7回）、合同会議（年1回）、スマホ写真撮影講座、ふれあい訪問（75歳以上一人暮らし対象・年2回）、高齢者訪問（75歳以上対象）、歳末見守り訪問（70歳以上一人暮らし対象）、助成団体支援活動、手をつなぐ親の会との交流
加布里	理事会（書面）、会計監査、総会（書面）、地域ささえあい会議、校区民児協会議、民生委員・福祉委員合同会議、福祉だより「道しるべ」発行（年4回）、ふれあい訪問高齢者見守り活動（年4回）、校区役員・部会長会議、小地域ネットワーク交流会、福祉団体の活動支援、単身高齢者の集い（中止のため茶葉を配布）
長 糸	理事会、会計監査、総会（書面）、地域ささえあい会議、長期療養中高齢者訪問、役員会議（年3回）、校区社協だより発行（年3回）、移動スーパー「いと丸くん」、一人暮らし高齢者訪問（年4回）、85歳以上訪問、団体助成、安心ネット長糸、自主運行バス、地域カフェみらい
雷 山	理事会、会計監査、総会、地域ささえあい会議、民生委員・福祉委員合同会議（年2回）、福祉だより発行（年3回）、にじの会愛のふれあい配付活動（年3回）、介護予防講習会、広報委員会、五者会議、ふれあい訪問活動月間（一人暮らし・二人暮らし高齢者・心配家庭等訪問）
怡 土	理事会、会計監査、総会、地域ささえあい会議、役員会（年4回）、災害時要援護者支援体制研修、いきいきサロン代表者会、社協だより発行（年3回）、やよい活動（高齢者訪問/年2回）、いとキッズ、高齢者一人暮らし支援活動の日（中止のため後日訪問）

校区名	主な事業内容
一貴山	理事会、会計監査、総会（書面）、地域ささえあい会議、福祉だより発行（年3回）、ふれあい弁当配布（年3回）、見守り事業（年2回）
深江	役員会（8回）、会計監査、総会、地域ささえあい会議、一人暮らし高齢者見守り活動（年4回）、広報発行「ほっとタイム深江」（年3回）、福祉委員・民生委員研修交流会、福祉委員会設立、福祉委員会
福吉	理事会、会計監査、総会（書面）、役員会（6回）、地域ささえあい会議、校区社協だより発行（年2回）、ふれあい弁当配付（年3回）、校区グラウンドゴルフ大会、ふれあいコンサート、福吉ふれあいの会（弁当配布）
可也	理事会、会計監査、総会（書面）、地域ささえあい会議、広報誌発行（年3回）、一人暮らし高齢者見守り活動物品等配付（年2回）、役員会（10回）、民協・福祉委員交流会、川辺の里の集い一人暮らし物品配布、可也小あいさつ標語依頼、民生委員交流会、福祉委員交流会
桜野	理事会、会計監査、総会（書面）、役員会、地域ささえあい会議、広報誌「愛・さくらの」発行（年4回）、一人暮らし高齢者見守り、愛のしあわせ弁当配布（年3回）
引津	会計監査、総会、地域ささえあい会議、広報発行（年3回）、一人暮らし高齢者見守り訪問（年3回）、一人暮らし高齢者年賀状送付

## （2）校区社会福祉協議会会長・事務局長会議の開催

- ・会長・事務局長会議  
第1回 7月1日  
第2回 2月15日（コロナ禍により中止）
- ・事務局長会議 1月25日

## （3）小地域ネットワーク福祉会の活動支援と連携

◆コロナ禍で活動が制限されたが、できる範囲で活動を行った。

- ①松隈福祉会 ②初福祉会 ③富士見ヶ丘福祉会 ④師吉団地福祉会  
 ⑤大浦台福祉会 ⑥大石福祉会 ⑦稲葉福祉会 ⑧師吉福祉会 ⑨桜井東福祉会  
 ⑩大町福祉会 ⑪御床福祉会 ⑫東貝塚福祉会 ⑬西貝塚福祉会 ⑭香月福祉会  
 ⑮芥屋福祉会 ⑯神在三区福祉会 ⑰東蔵持福祉会 ⑱老松町福祉会  
 ⑲池田南福祉会 ⑳白浜町福祉会 ㉑南風台6・7丁目福祉会

◆コロナ禍で活動に制限があり活動状況の把握のために、アンケート調査を実施して代表者会議にて情報の共有を行った。

## （4）小地域ネットワーク福祉会代表者会議の開催

◆福祉会の活動の報告やコロナ禍での活動について、各福祉会より報告をいただき、情報共有に努めた。コロナ禍で、2年間会議が開催出来なかったため、有意義な意見交換の場となった。

## (5) 見守り台帳の整備と支援態勢づくり

- ◆見守り台帳の取り組みでは、平常時における要援護者への見守り及び集中豪雨や地震などの自然災害発生時の見守り支援態勢づくりの構築を推進した。新規調査対象者 1,272 人に校区社協を通じて聞き取り調査を実施した結果、461 人が新規登録され、合計 7,290 人の登録となった。

### 校区別対象者集計（令和 4 年 3 月末現在）

	独居高齢者	高齢者のみ	同居高齢者	障がい者	その他	計
波多江	206人	259人	72人	60人	0人	597人
東風	120人	203人	63人	21人	0人	407人
前原	234人	392人	114人	73人	0人	813人
前原南	172人	180人	64人	42人	1人	459人
南風	60人	194人	41人	34人	2人	331人
加布里	183人	368人	103人	50人	0人	704人
長糸	47人	124人	32人	16人	0人	219人
雷山	70人	155人	38人	20人	0人	283人
怡土	162人	503人	131人	48人	1人	845人
一貴山	101人	184人	79人	21人	1人	386人
深江	185人	316人	138人	39人	1人	679人
福吉	98人	243人	86人	27人	0人	454人
可也	152人	206人	99人	47人	4人	508人
桜野	42人	42人	51人	24人	0人	159人
引津	113人	132人	161人	39人	1人	446人
計	1,945人	3,501人	1,272人	561人	11人	7,290人

## (6) 福祉委員への支援

- ◆民生委員児童委員と連携し、地域福祉の推進役として各行政区に福祉委員を設置。

164 行政区 178 人に委嘱した（設置率 100%）

### ① 福祉委員代表者会

日時：令和 3 年 4 月 9 日（金）

内容：新会長・副会長の選出、研修会について

### ② 福祉委員全員研修

日時：令和 3 年 4 月 9 日（金）

内容：委嘱状交付式、福祉委員活動及びボランティア活動保険について説明

参加者：153 人

## (7) 糸島市民生委員児童委員へ支援

### ① 役員会並びに定例会の開催

役員会 年6回 偶数月第1金曜日 (6月はコロナ禍により7月開催)  
前原地区 年7回 毎月 第3週の水曜日 (前原地区役員会年3回)  
二丈地区 年7回 毎月 第3週木曜日  
志摩地区 年7回 毎月 第3週水曜日

※各地区定例会は、5月・6月・8月・9月・2月はコロナ禍により中止

### ②各地区研修会の開催

#### ◎前原地区

月日	参加人数	講師	研修内容
12/15	98人	糸島保健福祉事務所	ゲートキーパーについて
1/12	96人	市社協 経営管理課	福祉の総合相談窓口の取り組みについて

#### ◎二丈地区

月日	参加人数	講師	研修内容
12/16	33人	民生委員児童委員	民生委員児童委員活動の体験談について
1/20	33人	市社協 地域課	地域の福祉活動について

#### ◎志摩地区

(コロナ禍により開催なし)

## (8) 社協出前講座(糸島市出前講座)への職員派遣

◆市役所の生涯学習情報誌に掲載している出前講座

(コロナ禍により依頼無し)

内容

No.1 地域福祉ってなあに? No.2 地域の福祉力を高める住民講座

No.3 ご存知ですか?あなたのまちの民生委員・児童委員

No.4 家庭介護教室 No.5 福祉教育 No.6 社会貢献教育「寄付の教室」

No.7 社会貢献教育「寄付の教室～応用～」

No.8 地域福祉活動計画 ～糸島の地域福祉力のさらなる向上を目指して～

#### 4. ボランティアセンター事業

- ◆ボランティア活動に関する相談、情報提供、コーディネートなど個別の活動支援を行うとともに、ボランティア講座の企画運営については、糸島市社会福祉協議会ボランティア連絡協議会と共催で行った。

No.	項目	内容
1	ボランティア活動支援	<p>ボランティア活動に関する相談、情報提供、コーディネートなど活動支援</p> <p>①令和3年度 ボランティアセンター登録者数 2,970人            内訳 1 ボランティアセンター個人登録者 20人            2 社協ボランティア連絡協議会 30団体 414人            3 その他団体・個人 60団体・個人 2,536人            (※ボランティア活動保険の実績数換算による)</p> <p>②ボランティア活動に関する対応件数、29件            内訳 ボランティア依頼者数 13件、活動希望者数 16件</p> <p>③新型コロナウイルス感染拡大に起因する社会変化に対応して、市民活動に関する相談や問い合わせなど多数あった            内訳 1 フードパントリーをフードバンク糸島、JA 糸島女性部との共催で開催した際に、各所との調整、場所および備品の提供ほか運営を支援            2 一般社団法人 CFT いとしまとの連携により、経済的理由で生理用品を購入することが難しい人を主な対象として、市健康福祉センターあごらにて生理用品を随時提供            3 ふれあい生きいきサロン支援ボランティアへ新型コロナ感染対策として除菌シート配布</p>
2	ボランティア活動保険の助成	<p>①令和3年度保険全額助成 31団体・個人 668人            内訳 ボランティア連絡協議会団体、ボランティアセンター個人登録者、福祉委員会、糸島青年会議所</p>
3	ボランティア団体への助成	<p>①運営助成(上限3万円) 26団体 720,000円            ◆地域福祉の推進のためのボランティア団体運営経費を助成</p> <p>②備品助成(上限5万円) 2団体 100,000円            ◆団体の活動に必要な備品や消耗品を上限5万円まで助成            対象団体: 糸島手話の会、いとしまこども食堂ほっこり</p> <p>③事業助成(上限5万円) 1団体 50,000円            ◆研修会・講演会等市民向けの事業の開催費、または調査・研究事業の実費を上限5万円まで助成            対象団体: いとしま在宅ホスピスボランティアの会「ヴィオラ」</p>

糸島市社協ボランティア連絡協議会事業

No.	項目	開催日	内容	参加人数
1	ボラ連役員会	第1回役員会 期日：7月7日(水) 場所：あごら	①糸島市社会福祉大会表彰の推薦について ②市民・会員向け講座について ③遊び×学び×交流フェス いとしまFunについて ④令和3年度ボラ連代表者会について ⑤地域福祉計画よりボランティア関連項目について ⑥今後のボラ連について	4人
		第2回役員会 期日：3月15日(火) 場所：あごら	①令和3年度事業について ②新規団体加盟審査 ③令和4年度事業計画について	4人
2	ボラ連代表者会	社協ボラ連代表者会 期日：7月24日(土) 場所：あごら	①令和3年度役員紹介 ②新規加盟団体紹介 ③令和2年度事業報告について ④令和3年度事業計画について ⑤遊び×学び×交流フェスいとしまFunについて ⑥糸島市社会福祉大会について ⑦地域福祉活動計画よりボランティア関連項目について ⑧意見交換(情報交換シート) ※新型コロナウイルス感染症対策として 部門別会議は実施せず	18人
3	ボラ連会員研修	社協ボラ連交流会 期日：2月5日(土) 場所：あごら (コロナ禍により中止)	ボラ連全体の会員間の交流をはかり親睦を深めるとともに、団体同士の活動発表などを通して、より連携を図るため企画。	
		ふくおか「きずな」フェスティバル 期日：2月20日(日) 場所：クローバープラザ (コロナ禍により、WEB配信に変更)	①記念講演「ボランティアの心得と次世代への継承」 ②高齢者分科会「コロナ禍のボランティア活動」 ③防災分科会「地域の防災力を高めるために」	
4	いとしまFun 2021	テーマ：「防災×学生」 期日：10月17日(日) 場所：あごら (コロナ禍により中止)	遊び×学び×交流フェスとして、地域住民やボランティアなど様々な人たちで「地域共生社会」の実現を目指し、糸島市のボランティア・福祉活動を知ってもらうことを目的に開催	

糸島市社協ボランティアセンター事業

No.	項目	開催日	内容	人数
1	市民向け講座	グラフィックレコーディング講座 期日：10月23日(土) 場所：あごら	ボランティア活動や団体運営上欠かせない、会議の進行や記録をテーマにした講座を開催。会議等での議論を絵や図形により可視化するコミュニケーション方法「グラフィックレコーディング」を学び、活動に生かすことを目的に実施。	24人

		送迎・移動支援等講習会（住民主体型） 「ちょっと誰かを車に乗せる時の心構え や実技を学ぼう」 期日：3月4日（金） 場所：福吉コミュニティセンター	地域での福祉の担い手である運転者の 運転に対する不安と過信の軽減、および 送迎ボランティアの育成と地域ささえ あい活動の推進を目的に開催 ①送迎と移動支援 ②運転とリスク ③乗降時の介助と車両 ④住民による送迎・移動支援	17人
2	福祉教育	ふくし体験スクール 期日：2月20日（日） （コロナ禍により中止）	小学5、6年生を対象に福祉の心を育む ために開催 内容／手話学習会、寄付の教室、防災セ ンター見学、居場所ワークショップ	254 人
		①深江小学校 9月14日（火） ②福吉小学校 11月9日（火） ③前原南小学校 12月7日（火） ④志摩中学校 12月10日（金） ⑤北九州市立高見小学校 12月21日（火）	①車いす利用者の講話 ②車いす・アイマスク体験 ③車いす・アイマスク体験、講話 ④ユニバーサルデザイン、市内のボラン ティア活動、糸島市社協の取り組みにつ いて ⑤寄付の教室（職員の実地演習として）	

## 5. 高齢者福祉事業

### （1）家族会（在宅介護者の会）活動支援

◆在宅で介護をされている方とその家族等が集い、情報交換や悩みを語ることにより心理的、身体的なストレスの軽減を図ることを目的に組織化。各地区の家族会で学習会や意見交換会を実施、バスハイク行事はコロナ禍により中止。

- ・3地区合同交流会 令和3年12月9日

研修：糸島メディカルカフェ

交流会：卓球バレー

- ・「癒しの会」（前原地区） 活動日／2カ月に1回 場所／あごら  
（コロナ禍により開催日数が減少）

- ・「楽笑」（二丈地区） 活動日／3カ月に1回 場所／二丈苑  
（コロナ禍により定例会は中止）

- ・「あすなろの会」（志摩地区） 活動日／毎月第3木曜日に開催 場所／ふれあい

### （2）糸島市シニアクラブ連合会への活動支援及び助成

◆グランドゴルフ・ペタンク大会

（コロナ禍により中止）

## 6. 障がい児（者）福祉事業

### (1) わがまる芸術団

わが丸研究大会から派生した、障がい者支援の活動

### (2) “きょうだいのつどい” 障がい児（者）ふれあい交流事業

（コロナ禍により中止）

### (3) 共同作業所への活動助成（歳末たすけあい募金）

NPO法人いとしま工芸、NPO法人みらい

### (4) 身体障害者福祉協会への活動支援及び助成

### (5) 糸島市臨床動作法研究会親の会（レインボーサークル）への活動助成

### (6) 糸島市精神障害者家族会“いとしま会”への活動支援及び助成

### (7) 手をつなぐ親の会への活動支援及び助成

### (8) 糸島市聴覚障害者協会への活動支援及び助成

## 7. 児童・青少年・ひとり親家庭の福祉事業

### (1) 福祉教育教材「ともに生きる」配布

◆配布対象 市内 16 小学校の小学3年生へ 1,038 冊配布

### (2) 児童公園への遊具設置事業（既設置撤去修繕、遊具保険のみ）

撤去修繕の実績はなし

### (3) ひとり親家庭の親子バスハイクの開催

日 時 令和3年9月5日（日）

場 所 ノボルト（国内最大級屋内アスレチック）

（福岡県福岡市西区小戸2丁目10番76号 マリノアシティ福岡内）

（コロナ禍により中止）

※参加予定者へ図書カードとお菓子の詰め合わせを送付

### (4) 母子等寡婦福祉会への活動支援及び助成



## (5) 共助社会づくり推進のための市町村社協モデル指定事業

### ①ひきこもりを考える講演会の開催

- ◆「ひきこもり」についての基本的理解や当事者・家族・支援者の具体的な関わり方について学び、考えることを目的に開催

「『ひきこもり』って何？どうして？～その基本的理解とこれからを考える～」

日 時／10月2日（土）13時30分～15時

講 師／長阿彌 幹生氏（教育文化研究所代表）

場 所／市健康福祉センターあごら 視聴覚室

参加者／46人

### ②家族の集いの開催

- ◆「ひきこもり」について悩みを持つ家族が同じ悩みを持つ方と交流する場の開催

開催日	参加者
11月25日(木)	15人
3月25日(金)	14人

## (6) 子ども支援団体の活動支援

### ①子ども支援団体連絡会議

- ◆食や居場所で子ども支援を行う団体の情報共有のための会議を実施。また、会議に参加する団体に対し、NPOや企業、個人からの食品の寄付について連絡調整を行う。

子ども支援団体連絡会議

第1回 8月 5日(木)

第2回 12月22日(水)

第3回 3月24日(木)

### ②子ども未来ネットワーク定例会

- ◆「子ども未来ネットワーク(子どもを地域で見守る大人の集まり)」メンバーと市社協との会議

参加者／子ども若者支援に関心がある方（子ども食堂、フリースクール、プレーパーク、福祉施設職員等）

開催日	内容	人数
4月22日(木)	情報交換	9人
7月23日(金)	ポジティブ教育カードゲーム体験会 情報交換	18人
12月2日(木)	ポジティブ教育カードゲームの活用状況の確認 情報交換	7人
1月6日(木)	3回連続講座の企画	6人
3月17日(木)	3回連続講座のふりかえり 情報交換	11人

③地域の居場所「うみかえる」開催の支援

- ◆「昔懐かしい古民家で誰でも来られるほっとできる場所」のイメージで開催  
学生と地域の大人と一緒に運営し、大人は基本的に見守り、高校生や参加した子どもたちの自主性に任せた運営。

場 所／コミュニティスタジオ「うみかえる」二丈深江

参加者／子ども未来ネットワーク会員、学生ワークショップメンバー（糸島高校、  
糸島農業高校他、一般参加）

開催日／ 6月13日（日）10時から15時

7月22日（日）10時から15時

11月14日（日）10時から15時

12月19日（日）10時から15時

3月13日（日）10時から15時

④子ども支援の輪を広げるための連続講座

- ◆子どもや地域の居場所に対する地域住民への理解と、啓発及び子どもに関心がある仲間づくりを目的に開催

第1回：「大人・ことば・子ども」

日 時／2月17日（木）18時30分～20時30分

講 師／大松 康氏（産の森学舎）

方 法／Zoomにてオンライン開催

参加者／24人

第2回：「子どもの居場所寺子屋しましま 立ち上げから運営裏話」

日 時／2月24日（木）18時30分～20時30分

講 師／阪井 麻紀氏（寺子屋しましま）

方 法／Zoomにてオンライン開催

参加者／31人

第3回：「私が居るとということ」

日 時／3月6日（日）14時～16時

講 師／野島 智司氏（マイマイ計画）

場 所／市健康福祉センターあごら 教養娯楽室

Zoomにてオンライン同時開催

参加者／28人

## 8. 総合的な福祉事業

### (1) 広報紙市社協だより「みんなのふくし」の発行（全戸配布）

◆年間4回の発行

66号～69号の発行（4月、7月、10月、2月）

### (2) 共同募金運動の推進（目標額 1,550万円）

◆福岡県の目標額は、昨年実績の直近額に設定され、コロナ禍における募金活動となり達成率は99.3%で昨年度の実績を下回った。（参考：昨年度達成率91.6%）

赤い羽根共同募金総実績額 15,391,851円

【内訳】 (参考：令和2年度 15,388,687円)

区分内容	金額
戸別募金（行政区ごとに協力依頼）	12,249,677円
職域募金（バッジ・タイピン募金）	643,306円
大口募金（市内の法人企業・個人店に協力依頼）	1,278,839円
その他（自動販売機、個人、街頭募金・募金箱、利息など）	1,220,029円

### (3) 糸島市社会福祉大会

日時 令和3年11月13日（土）

（コロナ禍により中止）

※第1回の運営委員会にて開催を検討し中止を決定

## 9. 相談支援（援護活動）事業

### (1) 法律・心配ごと相談

◆法律・心配ごと相談所の開設（あごら）毎週火曜日、延べ41回実施／相談件数180件  
 相談員（延べ） 弁護士41人 民生児童委員41人（各校区民児協から選出）  
 （コロナ禍により8/17、8/24、8/31、9/7中止）

相談内容（180件）

（参考：令和元年度225件）

生計	2	年金	1	職業・正業	1	住宅	11	家族	5	結婚	1
離婚	19	健康衛生	0	医療	2	精神衛生	0	金銭・法律	42	財産	52
事故	1	児童・母子	0	教育青少年	0	心身障害者	0	母子・父子	1	老人福祉	0
苦情	1	その他	41								

処理内容（180件）

解決	120	再来相談	15	他機関を紹介	17	その他	28
----	-----	------	----	--------	----	-----	----

## (2) 生活福祉資金等相談件数 (生活福祉資金及び福祉金庫)

◆コロナ禍による影響も含め経済的な困窮等により、多様な生活課題を抱える人への総合的な支援を行う生活困窮者自立支援制度が施行され、貸付事業は連携施策として運営、活用されている。令和3年度も、コロナ特例貸付として緊急小口資金及び総合支援資金が年間を通して相談があった。

### ①相談件数の推移(初回相談の件数)

令和元年度 226件

令和2年度 143件(既存の貸付)、2,849件(コロナ特例貸付)

令和3年度 146件(既存の貸付)、1,260件(コロナ特例貸付)

### ②生活福祉資金の貸付決定状況

福祉資金	福祉費	3件	1,227千円
	緊急小口資金	16件	1,185千円
教育支援資金	教育支援費	26件	14,565千円
	就学支度費	21件	7,059千円
	計	66件	24,036千円
		(令和2年度 68件	31,700千円)

### ③コロナ特例貸付(令和3年4月1日から令和4年3月31日受付分)

新型コロナウイルス感染拡大の影響を受けて、休業や失業及び収入の減少に伴い生活が困窮となった世帯への貸付(通常の緊急小口資金及び総合支援資金の貸付要件緩和)

緊急小口資金 366件 73,200千円

総合支援資金 405件 221,100千円

総合支援資金(延長) 86件 46,360千円 ※令和3年6月末終了

総合支援資金(再貸付) 305件 167,750千円 ※令和3年12月末終了

計 1,162件 508,410千円

(令和2年度 2,752件 1,088,800千円)

### ④福祉金庫の貸付件数

明日の食費もなく生命に関わるほど窮迫している、生活費を得るための交通費や燃料代の活動費が捻出できない等、緊急を要する貸付が増加傾向にある。

58件 1,062,000円 (参考:令和2年度 54件 899,000円)

## (3) 日常生活自立支援(権利擁護)事業

◆認知症や知的障がいの方などで判断能力が低下した方を対象に、福祉サービス援助や日常的な金銭管理を実施。利用者は生活困窮世帯などの困難事例も多く、地域包括支援センターや市役所福祉支援課、福祉保護課と連携した対応に努めている。

相談件数 101件

(認知症高齢者 92件、知的障がい者 8件、精神障がい者 1件)

契約内訳

①福祉サービス利用援助、日常的金銭管理サービス

利用件数33件 内訳／高齢者23件・障がい者10件（知的・精神）  
（継続27件・新規8件・廃止2件）

②書類等預かりサービス事業（貸金庫で保管）

利用件数14件 内訳／高齢者7件・障がい者7件（知的・精神）

③安心あずかりサービス事業（独自事業）

利用件数7件 内訳／高齢者3件・障がい者4件（知的・精神）  
（継続7件・新規1件・廃止1件）

10. 受託事業

（1）市健康福祉センター「あごら」「ふれあい」、高齢者福祉施設「二丈苑」の  
管理・運営（指定管理者）

◆新型コロナウイルス感染拡大防止のため緊急事態宣言の発出に伴い、臨時休館や  
開館及び開館時間の短縮等を実施したために、利用者数が大きく減少した。

（5月12日～6月20日及び8月20日～9月30日はコロナ禍により閉館）

糸島市健康福祉センター「あごら」利用者数 延べ43,048人（令和2年度 39,215人）

会場名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
視聴覚室	568	45	99	603	60	100	880	741	614	927	117	471	5,225
トレーニング団体	441	107	54	389	63	0	303	318	350	261	0	333	2,619
トレーニング個人	630	233	181	736	149	0	776	726	686	546	0	460	5,123
調理実習室	72	0	0	72	36	0	78	137	94	212	83	141	925
栄養指導室	345	40	38	335	87	0	294	317	336	258	141	933	3,124
研修室1	204	67	14	211	54	24	200	300	172	308	127	211	1,892
研修室2	252	58	54	360	62	12	224	177	311	400	229	432	2,571
教養娯楽室1	213	96	0	202	22	0	69	100	166	116	125	143	1,252
教養娯楽室2	242	55	0	208	22	0	66	80	189	231	133	124	1,350
ふれあい交流室1	353	47	8	188	77	0	132	262	249	279	112	276	1,983
ふれあい交流室2	330	0	0	153	46	0	56	112	211	199	80	337	1,524
ゲートボール場1	35	0	20	0	0	0	90	140	0	0	0	40	325
ゲートボール場2	0	0	20	0	0	0	90	140	0	0	0	0	250
軽グラウンド	1,462	592	185	1,405	310	0	1,320	1,285	1,311	1,137	0	1,283	10,290
陶芸室	162	40	40	191	69	0	264	291	359	310	184	239	2,149
図書室	57	60	41	142	10	0	420	558	417	454	176	111	2,446
計	5,366	1,440	754	5,195	1,067	136	5,262	5,684	5,465	5,638	1,507	5,534	43,048

※あごらの9月の利用者は、健康診断の利用者によるもの

糸島市健康福祉センター「ふれあい」利用者数 延べ17,544人（令和2年度 17,077人）

会場名	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
健診・研修室	285	64	126	745	117	0	343	504	376	331	119	249	3,259
ふれあい交流室	164	176	237	479	166	0	372	213	555	215	154	278	3,009
趣味の部屋	379	56	62	237	52	0	284	297	267	257	140	222	2,253
和室1、2	107	19	35	106	20	0	98	125	87	69	69	88	823
和室3	43	0	14	14	0	0	40	63	74	22	5	54	329
陶芸室	60	0	0	59	15	0	64	79	69	55	37	51	489
一般入浴	700	258	180	666	67	0	679	523	500	396	0	384	4,353
テニスコート	285	87	50	190	28	0	181	311	336	341	331	349	2,489
ヘルストロン	98	32	23	72	13	0	63	65	49	39	35	51	540
計	2,121	692	727	2,568	478	0	2,124	2,180	2,313	1,725	890	1,726	17,544

糸島市高齢者福祉施設「二丈苑」利用者数 延べ2,200人

(令和2年度 1,612人)

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
会場名													
大研修室	140	33	31	110	22	0	246	261	202	150	108	159	1,462
小研修室(和室)	105	24	19	78	17	0	103	102	91	72	56	71	738
調理実習室	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
計	245	57	50	188	39	0	349	363	293	222	164	230	2,200

## (2) 基幹型地域包括支援センター事業

◆基幹型地域包括支援センターとして、各地域包括支援センターにおける業務・連絡調整を行うとともに事業運営に必要な情報等の共有を図り、センターの機能強化に取り組んだ。また、各地域包括支援センター職員に対し、ケアマネジメントの質の向上を目的とした研修の開催や処遇困難事例等への助言、同行訪問等の支援を通じ各センターの資質向上を図った。

### 【相談件数】

来所	電話	往訪	その他	合計
162人	1,168人	235人	49人	1,614人

### 【相談者内訳】

包括支援センター	本人	家族(同居)	家族(別居)	親戚・近隣・知人	民生委員
1,015人	119人	24人	30人	27人	8人
見守り協力員	行政関係者	介護支援専門員	介護サービス事業所	社会福祉サービス事業所	医療関係者
0人	168人	66人	18人	41人	60人
権利擁護関係	その他	合計			
37人	1人	1,614人			

### 【相談内容】

一般相談		困難事例	
介護認定	49件	虐待関係	318件
介護保険サービス	30件	権利擁護・成年後見	239件
介護予防ケアマネ以外支援	13件	消費者被害	6件
総合事業サービス	6件	権利侵害(第三者による)	5件
介護相談(介護方法等)	2件	DV・暴力	58件
福祉用具	0件	経済的問題	140件
住宅改修	0件	認知症	374件
施設入所	9件	精神・知的(依存含む)	202件
在宅医療	13件	ターミナル	1件
見守り支援	142件	近隣トラブル、苦情	7件
連絡・引継	39件	介入、サービス拒否	30件
認知症	33件	その他	55件
その他	45件	小計	1,435件
小計	381件	合計	1,816件

【虐待の内訳】

身体的虐待	経済的虐待	精神的虐待	性的虐待	介護放棄	合計
29件	12件	32件	0件	5件	78件

【地域ケア会議への参加】

地域ケア会議 (自立支援型)	地域ケア会議 (処遇困難事例)	地域ケア会議 (地域課題)	介護予防 研修会	合計
38件	0件	29件	8件	75件

【関係者等会議への参加】

行政関係主催	地域関係者主催	業務担当者関係	ケアプランチェック	合計
72件	16件	81件	6件	175件

【地域包括支援センター事務局連絡会議等】

開催回数 10回（内センター長会議 2回） 事前会議 10回

部会会議の運営 ・保健師、看護師部会 10回 ・社会福祉士部会 16回

・主任介護支援専門員部会 10回

【介護予防ケアマネジメント研修（全体研修）の開催】

第1回研修	開催日：10月7日
	テーマ：高齢者の精神疾患やその症状について学ぶ 講師：樋詰貴登士 医師（ひづめ内科院長） 参加人数：37人（基幹型包括・市職員含む）
第2回研修	開催日：11月25日
	テーマ：地域包括支援センターとしてのアプローチを実践するために 講師：稲吉江美 氏（介護・高齢者支援課） 参加人数：36人（基幹型包括・市職員含む）
第3回研修 ※感染予防の 為中止	開催予定日：2月9日
	テーマ：介護予防ケアマネジメントの基本的な考え方を学ぶ

【認知症初期集中支援チーム会議】

協議件数 22件（延件数）

【市民への啓発活動】

- ・家庭介護者向け研修会
- ・介護保険事業者連絡会居宅部会研修会
- ・シニアクラブ会報誌への各地域包括支援センター活動状況の掲載

【糸島地区介護保険事業者連絡会】

糸島地区介護保険事業者連絡会の事務局として、介護事業所との連携を図り、毎月役員会や定例会の支援を行った。

### (3) 障害者相談支援事業

◆障がい者相談支援センターは、糸島市内に「糸島市社協」と「志摩学園」、「木の実」、「木の実二丈センター」の計4箇所相談窓口が設置され、障がいに関わる全ての相談に対して電話や訪問などにより相談支援を実施している。また、各センターとの連携を図るため事例検討や相互の情報交換等を行った。計画相談業務では、障害支援区分認定調査事業とともに利用者の支援を行った。

#### □ 相談実績

##### 【年齢層】

10歳未満	642件	40代	432件	80代	18件
10代	536件	50代	791件	90代以上	1件
20代	317件	60代	639件	不明	16件
30代	282件	70代	54件	合計	3,728件

##### 【障がい種別】

身体障害	1,037件	精神障害	927件	難病	62件
重症心身障害	186件	発達障害	639件	その他	28件
知的障害	795件	高次脳機能障害	54件	合計	3,728件

##### 【相談方法】

電話	1,425件	来所	225件	訪問	503件
同行・引率	10件	他機関調整	1,515件	その他	50件
				合計	3,728件

##### 【支援内容】

①福祉サービスの利用等に関する支援	757件	⑦家計・経済に関する支援	91件	
②障害や病気の理解に関する支援	19件	⑧生活技術に関する支援	881件	
③健康・医療に関する支援	311件	⑨就労に関する支援	350件	
④不安の解消・情緒安定に関する支援	282件	⑩社会参加・余暇活動に関する支援	127件	
⑤保育・教育に関する支援	729件	⑪権利擁護に関する支援	5件	
⑥家族関係・人間関係に関する支援	115件	⑫その他	61件	
			合計	3,728件

##### 【地域割】

前原	二丈	志摩	その他	不明	合計
2,881件	367件	366件	100件	14件	3,728件

##### 【障がい者・児別】

障がい者	障がい児	合計
2,670件	1,058件	3,728件



#### (4) 生きがいデイ教室（総合事業）

◆総合事業として、前原東圏域を対象に月曜日に実施。

(単位：人)

あごら/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
月	実人数	27	22	25	25	19	21	23	23	24	26	20	27	24/月
	利用者数 (延べ)	94	68	79	89	44	74	83	82	85	87	70	83	938

(参考：令和2年度 月平均 33人 984人)

#### (5) 移送サービス事業

◆公共交通機関等の利用が困難な在宅の寝たきり高齢者等を移送用車両で医療機関等へ移送するサービス。(登録車両4台)

(単位：人)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
登録	高齢者	100	101	102	103	101	102	101	98	100	101	102	98	101/月
	障害者	38	38	39	39	39	39	39	40	40	41	41	41	39/月
	計	138	139	141	142	140	141	140	138	140	142	143	139	140/月
利用	高齢者	16	20	18	25	14	13	19	16	19	18	21	21	220
	障害者	10	5	6	9	10	10	15	8	11	7	7	8	106
	計	26	25	24	34	24	23	34	24	30	25	28	29	326

(参考：令和2年度 293人)

#### (6) 配食サービス事業

◆調理が困難な65歳以上で一人暮らし等高齢者に対して、栄養のバランスのとれた食事を昼・夜に提供。4コースで対応(志摩地区は志摩園が受託)  
年々、実利用者数と配食数が減少している。

(単位：人、食、四捨五入)

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
実施日数		30	31	30	31	31	30	31	30	31	31	28	31	365
実利用者数	昼	52	52	52	52	55	54	51	47	46	42	40	40	49人/月
	夕	72	72	70	71	71	74	70	66	62	59	59	59	67人/月
	合計	124	124	122	123	126	128	121	113	108	101	99	99	116人/月
配食数	昼	908	1,024	978	988	1,013	1,014	969	893	867	774	718	781	10,927
	夕	1,548	1,671	1,605	1,653	1,640	1,657	1,582	1,464	1,422	1,279	1,263	1,382	18,166
	合計	2,456	2,695	2,583	2,641	2,653	2,671	2,551	2,357	2,289	2,053	1,981	2,163	29,093

(参考：令和2年度 34,224食)

(7) 母子家庭等日常生活支援事業

派遣件数 2件 内訳 母子家庭2世帯 7回 7時間

(参考：令和2年度実績なし)

(8) ふれあい生きいきサロン活動事業

◆ふれあい生きいきサロン数 117 (前原地区62、二丈地区20、志摩地区35)

「いきいきサロンはたえ」は、代表者交代のため今年度申請なし(活動は継続中)。

このほかに、サロン再開に関する相談が2か所から寄せられた。

①地区別サロン一覧

[前原地区]

校区	団体名	行政区	開催場所
波多江	寿サロン	高田東	高田自治会館
	いきいきサロン茶話野香(さわやか)	池田北	池田公民館
	いきいきサロンはたえ	波多江	西沖公民館・中町公民館等
	高田西わいわいサロン	高田西	高田自治会館
	池田南行政区よってきんしゃい	池田南	池田自治会公民館
東風	いきいきサロン浦志	浦志東	浦志公民館
	志登の会	志登	志登公民館
	泊一ふれあいサロン	泊一	泊一公民館
	潤南サロン	潤南	あごら
	潤おしゃべりカフェ	潤北	東風公民館
前原	さわさわ会	浦志南	サーパス参番館 集会所
	いきいきサロン東町	東町	東町公民館
	サロンニシマチ	西町	西町公民館
	ほがらかサロン	北新地	北新地公民館
	北本町いきいき夢サロンー九会	北本町	北本町公民館
	筒井町いきいきサロン	筒井町	筒井町公民館
	サロン南本町	南本町	ホテルニューガイア糸島会議室
	新田サロン木曜会	新田	新田本村公民館
	浦志西いきいきサロン	浦志西	ネオハイツ前原集会室
	上町中央サロン	上町中央	上町中央公民館
	サロン上新町	上新町	前原公民館
サロン油比の里	油比	油比公民館	
前原南	上町ゆうゆうサロン	上町	前原南公民館
	ひまわりサロン	老松町	老松町公民館
	サロン笹山	笹山	笹山公民館

	篠原1区ほほえみサロン	篠原1	篠原1区自治公民館
	サロン・クローバー	篠原2	養護老人ホーム篠原の里
	さんさんサロン	篠原3	篠原1行政区公民館
	いきいきサロンひまわりの会	中央	篠原の里コミュニティセンター
南風	美咲ふれあい悠々サロン	美咲が丘東	美咲が丘第一集会所
	よりあいサロンたく	多久	多久集落センター
	ほっとカフェ	美咲が丘西	美咲が丘第2集会所
	よりあい処南風台	南風台1～8	南風台集会所(3丁目)
	笑楽会	荻浦	荻浦第一公民館
加布里	東雲(しのめ)会	東	東区集落センター
	神在二生きいきサロン	神在2	犬石西公民館
	かみありさん元気かい	神在3	神在3区公民館
	木曜会	神在4	釜塚コミュニティセンター
	ひだまりサロン「浜の園」	神在5	浜の園団地集会所
長糸	かむりいきいきサロン1・2・3組	加布里東・中・西	加布里公民館
	長野 友愛の会	長野	長野集落センター
	川付ほっとサロン	川付	長糸いこいの家
	サロン瀬戸	瀬戸	瀬戸公民館
雷山	ぽっかぽか広場	香力	香力自治会館
	有田ふれあいいきいきサロン	有田	有田公民館
	づくぼうサロン	高上	高上公民館
	いきいきサロン「福蔵(ふっくら)」	蔵持	蔵持公民館
	富いきいきサロン	富	富集落センター(富公民館)
	よかところサロン	有田中央	有田中央公民館
怡土	西堂笑話会	西堂	西堂集落センター
	曾根 より愛サロン	曾根	曾根公民館
	川原親和会	川原	川原公民館
	王丸これからクラブ	王丸	王丸公民館
	サロン住吉会	井原	井原自治会館
	お達者クラブ	高来寺	高来寺公民館
	大門いきいきサロン	大門	大門公民館
	加多朗カイ	末永	末永構造改善センター
	いきいきサロン三雲	三雲	三雲公民館
	ふれあいサロンたかす	高祖	高祖公民館
	ひなたぼっこ輝きサロン	瑞梅寺	のぞみ館(空き家)
	井原なごみの会	井原	井原公民館
	サロン十五日会	大門	大門構造改善センター

[二丈地区]

校区	団体名	行政区	開催場所
一貴山	いきいき武サロン	武	武公民館
	上深江睦会サロン	上深江	上深江公民館
	松国いきいきサロン	松国	松国公民館
	にこにこ石崎会	石崎	石崎公民館
	いきいきサロン長石	長石	長石公民館
	ハローサロン	波呂	波呂公民館
深江	やよい野ふれあいサロン	やよい野	二丈苑
	東町ふれあい生きいきサロン	東町	東町公民館
	白浜元気会	白浜町	白浜町公民館
	元町ふれあいサロン	元町	元町公民館
	いきいきサロン下松末	下松末	下松末公民館
	生きいきサロン「ひまわり」	宮小路堂山	宮小路公民館
	片山サロン	片山	片山公民館
	生きいきサロン南町元気クラブ	南町	カーサ深江集会所
	松末サロン	松末	松末公民館
福吉	吉井下いきいきサロン	吉井下	福吉コミュニティセンター
	ふれあい竹戸サロン	吉井上	個人宅
	福井わくわくサロン	福井	福井区研修センター
	リフレッシュ! 加茂川	佐波	加茂川ふれあいセンター-佐波分校会館
	バンビハウス	鹿家	鹿家公民館

[志摩地区]

校区	団体名	行政区	開催場所
可也	初ふれあい生きいきサロン	初	初公民館
	ひかりが丘ふれあいサロン	ひかりが丘	ひかりが丘公民館
	花の会	師吉団地	師吉団地公民館
	そよかぜ	師吉団地	師吉団地集会所
	津和崎シニアサロン	津和崎	津和崎公民館
	富士見ヶ丘福祉サロン	富士見ヶ丘	富士見ヶ丘集会所
	稲葉ふれあいサロン	稲葉	稲葉コミュニティセンター
	小金丸西いきいき微笑会	小金丸西	小金丸西公民館
	師吉 仲良し会	師吉	師吉公民館
	楽しい仲間作り	師吉	師吉公民館
	師吉区 自由な居場所「もやいの会」	師吉	師吉公民館

	火山シニアサロン	稲留	稲留公民館
	大塚いきいきサロン	大塚	大塚公民館
	なごやか会	小金丸西	個人宅
	白うさぎの会	稲葉	稲葉コミュニティーセンター
	大石いきいきサロン	大石	大石公民館
	親山ふれあいサロン	親山	親山区自治公民館
桜野	いきましよう会	野北浜	野北浜公民館
	笑老会	桜井東	谷公民館
	さわやか会	桜井東	末松自治会館
	なごみ会	桜井東	桜井自治会館
	川上福社会	川上	川上公民館
	大町サロン	大町	大町公民館
	間少路クラブ	間少路	間少路公民館
	本村いきいきサロン	本村	本村公民館
	はつらつ会	川上	川上公民館
引津	岐志浜いきいきサロン	岐志浜	岐志浜公民館
	岐志岡いきいきサロン	岐志岡	岐志岡公民館
	野辺・福ノ浦いきいきサロン	野辺・福ノ浦	福ノ浦公民館
	東貝塚サロン	東貝塚	東貝塚公民館
	新町いきいきサロン	新町	新町公民館
	元気会	芥屋	芥屋公民館
	みんなの広場	西貝塚	西貝塚公民館
	松原ふれあいサロン	松原	松原公民館
	いきいきサロン船越	船越	船越公民館

◆ サロン代表者会（研修含む）

月	日	事業内容	講師等	会場	対象者数
8	20	サロン代表者研修会 「防ごう！コロナフレイル」	福岡大学 医学部看護学科 井上ゆりこ 氏	ふれあい	福岡コロナ特別警報 発動により中止
	25			あごら	
	31			二丈苑	
2	22	二丈地区サロン代表者会 「活動報告及び申請等について」	社協	二丈苑	福岡コロナ特別警報 発動により中止 郵送にて書類送付
	24	志摩地区サロン代表者会 「活動報告及び申請等について」	社協	ふれあい	
	25	前原地区サロン代表者会 「活動報告及び申請等について」	社協	あごら	
3	23	事務相談会 (二丈地区)	事務支援ボラン ティア(社協)	二丈苑	1 団体

	24	事務相談会 (志摩地区)	事務支援ボランティア(社協)	ふれあい	2団体
	25	事務相談会 (前原地区)	事務支援ボランティア(社協)	あごら	3団体

◆ サロンボランティア団体の代表者会及び会員研修会

月	日	事業内容	講師等	会 場	参加者数
11	5	サロンボランティア研修会 「住民がつくる移動サービス」	さが福祉移動サービス・ ネットワーク 代表世話人 江口陽介 氏	あごら	計30人 ボランティア20人 一般参加10人
		代表者会	社協		6人
3	2	サロンボランティア研修会 「心にここにこ・身体はつらつ健 康長寿講座」	NPO 法人福岡県レクリ エーション協会 専務理事 佐藤靖典 氏	あごら	34人
		代表者会	社協		5人

◆ サロンボランティア派遣実績

	令和3年度	参考(令和2年度)										
登録団体数	9団体	9団体										
派遣サロン数	69回	63回										
活動人数(延べ)	160人	139人										
<p>【ボランティア団体名】</p> <table border="0"> <tr> <td>①はつらつマイスターズ</td> <td>⑤ジネスボランティア</td> </tr> <tr> <td>②はるか</td> <td>⑥回想法ボランティア「つんのーて」</td> </tr> <tr> <td>③いとのか</td> <td>⑦食生活改善推進会</td> </tr> <tr> <td>④セラピューティックケア「ハーモニー」</td> <td>⑧DVD 上映ボランティア銀幕</td> </tr> <tr> <td></td> <td>⑨サロン事務支援ボランティア</td> </tr> </table>			①はつらつマイスターズ	⑤ジネスボランティア	②はるか	⑥回想法ボランティア「つんのーて」	③いとのか	⑦食生活改善推進会	④セラピューティックケア「ハーモニー」	⑧DVD 上映ボランティア銀幕		⑨サロン事務支援ボランティア
①はつらつマイスターズ	⑤ジネスボランティア											
②はるか	⑥回想法ボランティア「つんのーて」											
③いとのか	⑦食生活改善推進会											
④セラピューティックケア「ハーモニー」	⑧DVD 上映ボランティア銀幕											
	⑨サロン事務支援ボランティア											

◆ 薬剤師会の派遣実績

令和3年度は派遣実績が0回(新型コロナウイルス感染症の影響により提供できず)

◆ 新型コロナウイルスに関するサロン事務実績

月	日	実施内容	方 法
随時		コロナ禍における サロン運営等に関する相談支援	電話・来所
8	12	緊急事態宣言発出及び福岡コロナ特別 警報の発動中における屋内での開催中 止(お願い)を発文	かねてより代表者から開催可否の判断基準 についての相談が寄せられていた。また、 当時、宣言下では市内の他の通いの場等が 中止の方針であったこと等をふまえ、市と も協議の結果、全サロンへ発文。

2	18	「ふれあい生きいきサロン応援BOOK」をサロン代表者へ配布	糸島市社協独自の取組としてコロナ禍でのサロン運営に役立つ情報をまとめた冊子を作成し配布。(民生委員等の福祉関係団体にも配布。)
---	----	-------------------------------	---

(9) 特別支援学校高等部送迎バス運行事業 (福岡県委託事業)

◆生の松原特別支援学校高等部の生徒の通学支援のためのバス運行事業

・生の松原特別支援学校高等部登録数 13 人

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
登校	189	223	251	194	37	241	246	225	209	176	183	123	2,297
下校	173	203	234	175	35	222	222	202	193	158	168	121	2,106
計	362	426	485	369	72	463	468	427	402	334	351	244	4,403

(参考：令和2年度 登録10人 延べ2,791人)

(10) 手話奉仕員養成研修事業

◆期日：令和3年7月14日～令和4年3月30日

◆内容：入門講座(20回)、基礎講座(20回)

※コロナ禍により全46回中、40回開催

未開催分6回は、令和4年度に実施予定

(11) 障害支援区分認定調査事業

調査件数68件 (内訳：新規23件 更新42件 再申請3件)

障害種別 ・身体24件 ・精神19件 ・療育9件 ・身体,療育12件

・難病1件 ・診断書1件 ・無し2件

(参考：令和2年度42件)

(12) 移動支援(集団型)

◆生の松原特別支援学校高等部の生徒の通学支援のためのバスの介助員派遣

(単位：人)

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
学校日	16	18	22	16	3	19	21	21	17	16	17	15	201
延べ派遣者数	32	36	44	32	6	38	42	45	35	32	34	30	406

(参考：令和2年度 延べ377人)

### (13) 生活支援体制整備事業

#### ①生活支援体制整備推進協議会の設置、運営

年3回開催

第1回 日時：7月8日 参加者：18人

第2回 日時：10月6日 参加者：16人

第3回 日時：2月3日（書面開催）

内容：生活支援体制整備事業の進捗状況や地域ささえあい会議の進捗状況や地域課題の共有などを協議

#### ②市との連絡会議（定例会）

◆年5回開催 推進協議会に向けての協議や生活支援体制整備事業の運営に関する協議の場

#### ③第2層生活支援コーディネーター（第2層SC）の支援

◆令和3年度から設置された第2層SCの活動支援として、毎月SC連絡会議を開催した。会議では、情報共有や業務に対する相談などを受けながら支援にあたった。

会議の回数 13回

#### ④住民主体の生活支援活動を担う人材養成講座の開催

◆怡土コミュニティセンターとあごらにて地域ささえあいサポーター講座（3日間）を開催。コロナ禍ではあったが、地域の協力もあり受講生を確保できた。また、サポーター養成講座修了者を対象として、地域ささえあいサポーターステップアップ講座を地区別サポーター交流会にあわせて開催した。

地域ささえあいサポーター養成講座 受講者 59人

地域ささえあいサポーター登録者 29人が登録

地域ささえあいサポーターステップアップ講座 申込者 85人

#### ⑤社会資源調査・ヒアリング等

◆第2層SCと連携して加除式情報誌本体およびダイジェスト版を掲載済み団体と新規掲載団体を含めた情報の収集・調査を経て更新した。

また、地域での通いの場の調査も実施しファイルの作成を実施した。

#### ⑥地域ケア会議への参加・地域課題の整理

◆地域ケア会議に参加し、地域課題解決に向けての協議、あんしん生活サポート事業や地域ささえあい会議の情報提供を行った。

#### ⑦既存の組織・団体との連携、事業の啓発活動

◆民生委員児童委員定例会、福祉委員研修会、介護事業者連絡会などで生活支援体制整備事業、糸島市あんしん生活サポート事業、地域ささえあい会議（第2層協議体）などの説明を行った。

#### ⑧研修会への参加

◆オンライン研修が普及し、全国規模の研修や福岡県SC連絡会、SC研究協議会などの研修会に参加し、事業の推進に努めた。

#### ⑨地域ささえあい会議（第2層協議体）の設置推進

◆コロナ禍ということもあり、全ての校区で2回開催とはならなかったが、15校区



全てで開催出来た。

会議を通して地域課題の共有や情報交換ができ、課題解決の取り組みが企画されたが、コロナ禍で開催が困難なところもあった。

#### (14) 糸島市あんしん生活サポート事業（総合事業訪問 B）

##### ①地域ささえあい推進員連絡会議

◆糸島市あんしん生活サポート事業の調整役として小学校区に地域ささえあい推進員を配置。第1層及び第2層生活支援コーディネーターとで連絡会議を毎月開催。情報交換、情報提供をはじめ、コーディネートの詳細協議や新しいメニューの開発、サポーターに対する活動支援に関する協議などを行った。

地域ささえあい推進員連絡会議 年7回開催

##### ②利用者実績

◆令和3年度は地域住民や包括支援センターへの事業の周知も進み利用者が増加した。サポート内容としては、ごみ出し支援が全体の9割程度あり、その他は買い物支援と草取りであった。

利用者：48人（令和2年度33人）

サービス内容：ゴミ出し724件、買い物他76件 計800件

（令和2年度503件）

圏域	校区	対象者数	対応サポーター数	サポート回数	見守りのみ回数
前原東	波多江	5人	5人	ゴミ出し 59	12
	東風	3人	3人	ゴミ出し 166	0
	怡土	2人	2人	買い物 7 ゴミ出し 51	0
前原西	前原	6人	5人	ゴミ出し 183	3
	南風	9人	6人	ゴミ出し 146	8
	加布里	5人	4人	買い物 4 ゴミ出し 43	25
前原	前原南	6人	4人	買い物 4 ゴミ出し 7	9
	雷山	1人	1人	買い物 1	0
二丈	一貴山	4人	3人	買い物 3 草取り 8	42
	福吉	1人	1人		0
志摩	可也	5人	4人	買い物 49 ゴミ出し 17	13
	桜野	1人	1人	ゴミ出し 52	0
計		48人	39人	買い物 68 草取り 8 ゴミ出し 724 合計 800回	112回

### ③圏域別・校区別サポーター交流会

◆校區担当の地域ささえあい推進員が校區別交流会を企画・運営。活動が住民主体であることの意義づけや、推進員のリーダーシップ、サポーター相互の連帯感を高めることができている。交流会には地域包括支援センター職員や民生委員児童委員が参加することもあり、高齢者に対する事業等について情報共有ができるとともに、高齢者にやさしい生活サポート情報誌の新たな掲載候補の情報発掘にもつながっている。

15 校區対象 15 回開催 延べ 185 人参加

## (15) 地域力強化推進事業（我が事丸ごとの地域づくり推進事業）

「住民の身近な圏域」において、地域住民等が主体的に地域生活課題を把握し解決することが出来る環境の整備

### ①地域の担い手養成

「社会貢献学習“寄付の教室”」の調査研究、モデル校で実施

市内での「社会貢献学習“寄付の教室”」提供のため、他機関の有資格者とともに市外での実地演習を実施。今年度は、地域福祉活動計画の基本施策①-2「福祉教育プログラムの冊子作成及び配布」に向け、プログラムを検討作成。

### ②地域ささえあい会議の開催支援

生活支援体制整備事業と連携し、コミュニティソーシャルワーカー（CSW）として、会議の運営支援を行った。

会議の開催前に事前協議を開催し、会議の進行等について支援を行った。

### ③課題解決型のボランティアの組織化・活動支援

#### ア 糸島市我が事丸ごと研究大会の開催

糸島市我が事丸ごと研究大会を開催し、コロナ禍で実施されているボランティア活動の紹介や参加者の仲間づくりを行った。実行委員会で内容を企画し、コロナ禍における「ぬくもり」をテーマに5団体からボランティア活動の発表と参加者からの意見交換を行った。

#### イ フードパントリーの開催支援

J A糸島女性部と糸島フードバンク Happiness が協働し実施したフードパントリーの活動支援を行った。

野菜を中心に提供し、69世帯213名へ渡すことができた。

#### ウ 子どもの支援啓発、仲間づくり

子ども支援団体連絡会の開催や子ども未来ネットワークの活動支援を行った。

#### エ 障がい者福祉、森林保全、アートの3者間連携

糸島市市民提案型助成事業に採択され、年間を通じて商品開発ならびに作品制作を実施。糸島国際芸術祭”糸島芸農”への出展、講演とパフォーマンスを組み合わせたオンラインでの成果報告会等の活動支援を行った。

- オ 校区社会福祉協議会の活動強化
- カ 小地域ネットワーク福祉会の活動推進
- キ 子ども支援団体の活動推進

[アウトリーチ等を通じた継続的支援事業]

福祉まるごと相談窓口で様々な相談を受け付け、課題解決に向けた相談支援を実施。  
 相談者と継続的な関わりを持つために、信頼関係の構築に向けた丁寧な働きかけを行った。  
 新規相談者数 154 件 支援終了者数 133 件 出張相談会 7 回開催

[参加支援（人や場所とのつながり支援）事業]

何らかの理由により社会との関係を保つことが出来ない方や、その家族に丁寧に相談支援を実施した。  
 新規相談者数 13 件 支援終了者数 2 件

(16) 生活困窮者自立支援相談事業

◆令和3年度は、重層的支援体制整備事業の移行準備期間として「福祉の総合相談」の看板を掲げ、多機関の協働による包括的支援体制構築事業と共同して取り組んできた。

コロナ禍も2年目となり、社会福祉協議会の特例貸付の度重なる期間延長、住居確保給付金の申請要件の緩和や、生活困窮者自立支援金の創設に伴い、自営業者、外国人、若年層等新たな支援層の顕在化、支援ニーズの多様化によりプラン件数が大幅に増加した。(プラン作成件数77件)

①相談支援実績

		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	年間合計
新規相談受付件数(総数)		48	43	67	48	71	41	66	44	31	29	30	30	548
継続相談受付件数(前年度からの継続者を含む)		104	99	124	133	153	145	175	133	127	124	128	128	1,573
終了者数(前年度からの継続者を含む)		56	49	39	36	52	92	46	46	31	26	26	12	511
生活困窮を経て、生活保護となった者		3	1	2	3	1	1	0	1	4	2	2	1	21
プラン作成件数(総数)		4	5	5	7	8	4	4	3	10	11	5	11	77
就労支援対象者数 (プラン期間中の一般就労を目標にしている)		4	3	3	5	5	4	2	3	7	7	3	6	52
法に 基づく 事業等	住居確保給付金	0	1	0	1	1	2	1	2	1	1	1	2	13
	一時生活支援事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	家計改善支援事業	1	5	5	5	4	3	2	2	8	7	3	9	54
	就労準備支援事業	1	0	0	1	1	1	0	0	1	1	0	2	8
	就労訓練事業	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	自立相談支援事業による就労支援	4	4	2	5	5	4	2	3	8	7	5	6	55
その他	生活福祉資金等による貸付	2	2	0	4	2	3	1	2	4	9	3	9	41
	生活保護受給者等就労自立促進事業	3	1	0	2	2	0	2	2	3	4	2	1	22

②会議・自主研修会実績

	支援調整会議	月末処理会議	就労準備支援会議	自主研修等（テーマ）
4月	8日	27日	23日	13日 伝達研修 26日 伝達研修
5月	13日	25日	28日	13日 高齢者能力開発センター
6月	10日	29日	25日	1日 ライフレスキュー 24日 ひきこもり研修（Web） 30日 住居確保給付金
7月	8日	27日	30日	20日 ひきこもり研修
8月	19日	31日	27日	30日 住居確保給付金
9月	9日	28日	24日	5日 ひきこもり研修
10月	14日	26日	29日	
11月	11日	30日	26日	第8回生活困窮者自立支援研究交流大会（オンライン） （13日、14日、20日、21日、23日、27日）
12月	9日	1月7日	1月14日	5日 福祉の総合相談員研修
1月	13日	2月7日	2月18日	
2月	10日	3月4日	3月18日	15日 事例検討
3月	10日	4月4日	3月15日	
合計	12回	12回	12回	11回

(17) 多機関の協働による包括的支援体制構築事業

◆令和3年度は、重層的支援体制整備事業（以下「重層事業」という。）の移行準備期間として、「福祉の総合相談窓口」4月から開設し、属性を問わないまるごと受け止める福祉相談窓口を担いながら多機関の協働による包括的支援体制構築事業（以下「多機関協働事業」という。）を推進した。

多機関協働事業による支援プランの件数は9件（うち終結7件）で、制度のはざまでもある手帳取得ができない方や、主張ばかり繰り返すクレーマーの方、ベースに精神的な疾患が見受けられる複雑化・複合化した課題を有する方や世帯に積極的な支援を行った。

①福祉の総合相談窓口の周知（市内関係団体等への訪問）

福祉の総合相談窓口のチラシと窓口案内カード（2,000枚）を作成し、関係機関や市民（地域の見守り関係者）向けに配布する。

また、各地区の民生委員児童委員協議会での取り組み説明や県内社協研修での講師依頼など積極的に受け推進に努めた。

## ②相談者等に対する支援の実施

取り組み	実績
多機関協働	<ul style="list-style-type: none"> <li>支援プランの作成 作成件数 9 件（うち終結 7 件）</li> </ul>
一般相談	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談支援包括化推進員が受けた件数 相談件数 596 件（新規 117 継続 479）</li> <li>主な相談内容（相談に占める割合） 精神障害 225 件(38%) 経済的困窮 166 件(28%) 就職不安定 120 件 (20.%) 孤立 81 件 (14%) 住まい不安定 74 件(12%) 知的障害 71 件(12%)</li> </ul>
相談支援機関への調査	<ul style="list-style-type: none"> <li>相談支援機関への訪問、13 の包括的相談事業者相談員 39 人に調査</li> </ul>
双方向の情報提供づくり	<ul style="list-style-type: none"> <li>庁内連携シートの作成</li> <li>相談専用のメールを開設</li> </ul>

## ③会議、研修、講師派遣等

会議
<p>①多機関協働事業における支援会議（計 5 回 6/11 7/6 8/18 2/9 3/8）</p> <p>②自立支援調整会議（毎月 生活困窮者自立相談支援機関主催）</p> <p>③月末協議（毎月 自立支援プランの協議） ④社協総合相談会議（毎月CSWとの協議）</p> <p>⑤庁内連携委員会（未実施） ⑥相談支援部会（偶数月の第3金曜日）</p> <p>⑦ライフレスキュー事業（4/22,10/15,12/17） ⑧子ども支援連絡会議（8/5,3/24）</p> <p>⑨糸島地域若者自立支援関係機関連携会議（6/25） ⑩福祉支援課担当者会議（適宜）</p>
研修
<p>①福岡県ひきこもり支援関係者研修会（6/24）</p> <p>②ひきこもり相談会へ向けた自主研修会（7/20）</p> <p>③令和 3 年度重層的支援体制整備事業人材養成オンデマンド研修</p> <p>④自殺防止ゲートキーパー養成研修会（11/29）</p> <p>⑤総合相談員研修会（12/5）、我が事丸ごと研究大会（12/5）</p> <p>⑥令和 3 年度重層的支援体制整備事業市町村説明会（1/24）</p> <p>⑦重層的支援体制整備事業ブロック別研修会（2/3）</p> <p>⑧総合相談・生活支援事例検討会（3/2） ⑨福岡県ゲートキーパー交流会（3/4）</p>
講師派遣
<p>①ひきこもりを考える講演会 10/2 事業紹介</p> <p>②介護高齢福祉部会「8050」を考える講演会 10/14 事業紹介</p> <p>③ひきこもりネットワーク会議 1/20 事例提供、発表</p> <p>④福岡県市町村管理職員研修事例報告 1/24～3 月末 録画発表 「重層的支援体制整備事業の移行準備期間における取り組みについて」</p> <p>⑤前原地区民生委員児童委員協議会 1/12 事業説明</p>

## (18) 市民後見推進事業

- ◆一般の市民が地域で後見人として活動することができるよう市民後見人養成講座の修了者を対象にフォローアップ研修等を開催し、市民後見人として活動できるように推進した。また、市民後見推進検討委員会を開催して、糸島市での市民後見の推進について協議を行った。

### ①市民後見人養成研修 スキルアップ研修

場所：健康福祉センターあごら視聴覚室 / 研修時間：全 8 時間

対象：市民後見養成研修修了者で市民協力員として登録の 14 名に案内

実施日時	研修テーマ	講師	参加人数
10月23日 (土)	意思決定支援を踏まえた 後見活動について	公益社団法人 成年後見リーガルサポート 福岡支店 司法書士 稲毛 翔平 氏	12名
11月27日 (土)	後見事務 ～事例を用いて～	成年後見センターNPO あい愛サポート 行政書士 青木 日出夫 氏 行政書士 久次 芳 氏	11名
12月18日 (土)	後見事務に必要な法律	福岡県弁護士会 弁護士 松本 拓馬 氏	10名
1月8日 (土)	利用者理解のための基本的 視点と市民後見人として の心構え	大分大学 福祉健康科学部 准教授 滝口 真 氏	9名

### ②勉強会・交流会

日時：令和 4 年 3 月 26 日 (土) 10:00~12:00

場所：健康福祉センターあごら視聴覚室

参加人数：8 名

○「成年後見制度セミナー in ふくおか」の動画視聴

○日常生活自立支援事業で市民支援員として活動報告 (5 名)

報告内容/性別・年代・区分 (高齢者・知的・精神)・訪問場所・訪問頻度・支援内容  
支援の際に気をつけているポイント等

○意見交換会

### ③市民後見推進検討委員会

日時：11 月 17 日 (水) 13:30~15:20

場所：健康福祉センターあごら会議室

参加者：市民後見推進委員 6 名 福祉支援課 2 名 市社協 2 名

※第 2 回は令和 4 年 3 月 3 日に開催予定であったが、新型コロナウイルス感染拡大を受け書面評決にて開催。

## 1 1. その他（社会福祉法人の公益的な取り組みも含む）

### （1）第三者委員会

- ・令和3年度 苦情解決・第三者委員会

※新型コロナウイルス感染予防の為、文書での報告を実施

報告期間：令和2年10月～令和3年9月まで

### （2）傷害・賠償報告

- ◆自損事故が多く、職員で修繕する。

#### ①事業関係

1 件（サロン傷害保険）

#### ②車両関係

9 件（車両 79 台 対物、自損、対人 参考：令和2年度1件）

### （3）ライフレスキュー事業の実施

- ◆ふくおかライフレスキュー事業では、糸島市内の社会福祉法人が連携を行い、糸島地区連絡会を開催して、困窮者に対する支援をフードバンク糸島ハピネスからの食料支援も含め、相談支援を行った。

#### [支援件数]

相談件数	3 件
支援件数	3 件
現物給付件数	3 件

#### [支援内容]

- ・ホームレスの方の施設入所までのホテル代の現物給付（24,440 円）
- ・施設入所のための居宅の整理費用の現物給付（100,000 円）
- ・ゴミ屋敷の居宅の清掃に係る掃除用具等（6,121 円）

#### [糸島地区連絡会の開催]

市社協は、連絡会事務局を担当し、連絡会を4回開催した。コロナ禍でWEBを利用した連絡会の開催や、対面とWEBと合わせた連絡会の開催など工夫をし、支援した事例の検討や新規相談についての検討、参加法人の取り組み等を紹介してもらい、社会福祉法人間の連携に努めた。

## 12. 介護保険事業・障がい福祉サービス事業

### ①居宅介護支援事業

#### 糸島市社会福祉協議会ケアプランセンター

##### 1.総括

今年度は前年度と変わらない職員体制であったが、新規利用者数や担当利用者数は前年度を上回った。新規利用者の依頼は前原東地域包括支援センター及び福岡市や糸島市の病院から、その他あごらに直接家族が来所されるケースが多かった。

困難ケースの依頼は各圏域の包括支援センターや市役所から相談があったが、相談のみで実績につながらないケースもあった。介護予防の依頼件数は前年度に比べ、増えなかった。新型コロナウイルス感染症による利用者からの訪問自粛の要望も、数件ではあるが続いている。自宅訪問は感染に対する利用者側の意識の違いもあったが、できるだけ感染予防対策等を実施・継続した。

##### 2.実績

###### (1) 要介護度別利用者数

単位：件

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	述べ
要支援1	3	4	4	4	5	5	5	4	3	3	3	3	4	46
要支援2	13	15	15	17	16	16	16	16	14	14	12	12	15	176
要介護度1	81	77	72	75	73	79	81	79	75	74	70	70	76	906
要介護度2	68	71	75	76	77	71	74	76	75	74	77	80	75	894
要介護度3	39	36	37	38	42	42	38	41	39	36	36	37	38	461
要介護度4	22	23	23	21	20	19	18	18	23	22	24	23	21	256
要介護度5	13	13	13	13	13	13	17	15	15	16	16	15	14	172
令和3年度計	239	239	239	244	246	245	249	249	244	239	238	240	2,911	
令和2年度計	228	232	236	232	237	236	239	235	241	231	236	238	2,821	

###### (2) 介護支援専門員一人当たり平均件数

令和3年度	27.0
令和2年度	26.0

###### (3) 新規利用件数(年度の新規件数)

令和3年度	88.0
令和2年度	81.0

###### (4) 地域別状況

令和4年3月末現在	介護		支援	
	地域	人数	地域	人数
	前原地区	166	前原包括	1名
	二丈地区	36	前原西包括	1名
	志摩地区	27	前原東包括	11名
	福岡市	7	二丈包括	1名
	その他	2	志摩包括	1名



## ②訪問介護事業

### 糸島市社会福祉協議会ヘルパーステーション

#### 1 総括

令和3年度は、利用者数に関してはほぼ変わりはないが、サービス時間の増加が見られた。理由として、利用者の身体状況の変化により、支援の必要性が高まったことが考えられる。

現在、就業しているヘルパーの高齢化がますます進行しており、後継者の育成や人材確保が今後の課題である。

また、今後はヘルパーに更なる専門性を求められると考えられるため、様々なニーズに対応できるように努める。

#### 2 実績

##### (1) サービス内容別提供時間

単位：時間

支援内容/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間数(年)	
													3年度	2年度
身体介護 時間	241.0	228.5	238.3	234.2	280.5	268.5	244.3	234.6	266.1	280.1	286.5	272.3	3,074.9	2,886.3
身体生活 時間	120.3	142.5	134.0	160.3	194.2	206.2	231.2	210.0	171.3	146.3	146.3	144.3	2,006.9	1,282.3
生活援助 時間	333.8	337.8	330.8	325.6	289.6	350.1	319.1	326.9	337.8	309.8	303.5	355.5	3,920.3	4,039.2
令和3年度計	695.1	708.8	703.1	720.1	764.3	824.8	794.6	771.5	775.2	736.2	736.3	772.1	9,002.1	
令和2年度計	676.9	650.0	686.3	709.7	679.5	678.8	690.3	670.9	716.6	648.8	660.0	740.1		8,207.8

##### (2) 認定区分別利用者数

単位：人

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	延べ
事業対象者	4	4	4	4	4	4	4	4	4	3	3	2	3.7	44
要支援1	16	18	17	15	11	10	10	12	13	13	13	12	19.6	160
要支援2	23	22	21	20	24	23	22	21	19	17	19	20	20.9	251
要介護1	14	15	14	16	19	20	18	16	15	15	15	14	15.9	191
要介護2	13	11	11	13	14	16	17	15	13	14	16	17	14.2	170
要介護3	9	9	9	9	9	8	7	8	9	8	4	4	7.8	93
要介護4	3	3	3	2	2	2	2	2	5	5	6	6	3.4	41
要介護5	6	6	6	7	8	9	9	9	9	10	10	9	8.2	98
令和3年度計	88	88	85	86	91	92	89	87	87	85	86	84	87.3	1,048
令和2年度計	83	85	94	91	90	93	91	94	94	94	97	92	91.5	1,098

##### (3) 自主事業

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	1	1	2	0	1	1	0	0	1	1	1	2	11
時間	1.0	1.5	2.5	0.0	1.0	1.5	0.0	0.0	2.0	3.0	4.0	7.0	23.5

# 糸島市社会福祉協議会二丈ヘルパーステーション

## 1 総括

令和3年度は月度により波はあるものの順調に新規利用者を獲得する事ができ、利用者数を増やすことができた。反面、支援時間については全体的に前年度より減少傾向となった。支援時間が減った一方で収入面を増やすことができたのは、短時間の支援が増えて効率的に業務を行う事が出来た為ではないかと思われる。

入所や入院等、継続支援が不安定な利用者もあり、安定した収益を確保するにはまだ課題が残るが、今後も引き続き業務の効率化と利用者の拡充を目指していきたい。

## 2 実績

### (1) サービス内容別提供時間

単位：時間

支援内容/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間数(年)	
													3年度	2年度
身体介護 時間	112.5	150.4	143.3	149.3	138.0	113.0	112.5	88.0	109.3	119.0	99.8	92.5	1,427.6	1,398.1
身体生活 時間	75.0	92.5	88.4	88.5	88.0	82.0	84.5	87.3	85.0	81.5	84.5	52.5	989.7	1,062.3
生活援助 時間	202.8	216.3	277.8	279.3	257.5	279.3	263.9	274.6	272.8	256.3	257.8	275.0	3,113.4	3,940.5
令和3年度計	390.3	459.2	509.5	517.1	483.5	474.3	460.9	449.9	467.1	456.8	442.1	420.0	5,530.7	
令和2年度計	494.2	502.0	549.6	566.2	536.9	548.3	540.7	509.7	567.4	513.3	503.1	569.5		6,400.9

### (2) 認定区分別利用者数

単位：人

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	延べ
要支援1	7	8	8	9	9	9	9	11	10	10	9	7	8.8	106
要支援2	13	16	17	18	16	18	17	18	19	19	20	18	17.4	209
要介護1	7	10	10	11	11	13	12	11	10	10	9	11	10.4	125
要介護2	7	5	5	6	6	6	4	4	4	4	4	6	5.1	61
要介護3	2	2	3	4	4	3	3	3	5	5	4	4	3.5	42
要介護4	2	3	3	3	2	2	2	2	3	3	2	1	2.3	28
要介護5	4	5	5	6	5	5	4	4	4	5	4	4	4.6	55
令和3年度計	42	49	51	57	53	56	51	53	55	56	52	51	52.2	626
令和2年度計	39	39	39	44	47	50	49	48	47	44	42	44	44.3	532

### (3) 自主事業

単位：時間

月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
人数	4	4	4	4	4	4	5	2	2	3	2	3	41
時間	25.0	20.5	24.0	19.0	28.0	30.5	19.0	12.5	13.0	27.5	11.5	10.5	241





### ③通所介護事業

## 糸島市社会福祉協議会デイサービスセンター

#### 1 総括

令和3年度においても、新型コロナウイルス感染症を危惧され、デイサービス・生きがいデイ教室ともに、一時的或いは長期欠席される方が見られた。また職員から新型コロナウイルス感染症の陽性者が出た事により、収益に大きな影響がでた。

新規利用者の受け入れも行ってきたが、一方で入院や施設入所、逝去等にて終了となるケースも多く、全体的な利用者数は依然、伸び悩みが見られた。昨年度に比べ、要介護者の割合が増え、要支援者の数が減少した事により、令和4年度においては、事業所評価加算の算定が出来なくなる。

継続して感染予防対策を十分に講じながら、機能訓練や入浴等、安心安全なサービスの提供を行い、利用者増・収益アップに努める。

#### 2 実績

##### (1) 介護日数

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	22	21	22	21	16	22	22	21	21	20	20	23	251

##### (2) 要介護度別登録者数及び利用者数

単位：人

認定区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数		
														月平均	延べ	
事業対象者	実利用者数	4	4	4	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	39
	延利用者数	16	12	11	11	9	12	12	12	12	12	11	9	12	12	139
要支援1	実利用者数	18	18	17	16	16	16	15	14	15	14	15	13	16	16	187
	延利用者数	62	60	55	52	30	62	49	48	55	52	55	50	53	53	630
要支援2	実利用者数	27	27	28	28	28	27	28	28	26	27	26	24	27	27	324
	延利用者数	195	202	201	184	129	194	175	179	159	144	125	130	168	168	2,017
要介護度1	実利用者数	23	22	23	23	26	25	29	27	27	25	26	26	25	25	302
	延利用者数	250	222	262	240	192	264	274	255	223	223	202	221	236	236	2,828
要介護度2	実利用者数	10	11	11	13	12	12	14	15	16	18	17	16	14	14	165
	延利用者数	44	52	64	89	53	101	103	111	100	109	117	134	90	90	1,077
要介護度3	実利用者数	8	8	8	8	8	8	7	9	7	6	6	6	7	7	89
	延利用者数	86	89	81	64	52	69	64	75	73	58	54	59	69	69	824
要介護度4	実利用者数	3	3	3	3	4	4	4	4	5	5	5	6	4	4	49
	延利用者数	56	46	42	40	33	63	63	60	50	55	64	76	54	54	648
要介護度5	実利用者数	4	4	3	3	3	3	5	5	5	5	5	5	4	4	50
	延利用者数	40	41	36	25	18	34	42	52	46	44	48	55	40	40	481
令和3年度計	実利用者数	97	97	97	97	100	98	105	105	104	103	103	99	100	100	1,205
	延利用者数	749	724	752	705	516	799	782	792	828	697	676	734	729	729	8,754
令和2年度計	実利用者数	101	98	96	95	92	88	90	95	91	90	92	95	115	115	1,123
	延利用者数	613	600	668	677	581	668	683	645	645	551	631	719	817	817	7,681

\*7月は2営業日(7/30~7/31)、8月は5営業日(8/3~8/7)、コロナにより閉所。

#### 3 生きがい教室(総合事業)※毎週月曜日開催

単位：人

認定区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数		
														月平均	延べ	
令和3年度	実利用者数	27	21	25	25	18	21	23	23	24	26	20	27	23	23	280
	延利用者数	95	68	79	89	45	74	83	81	85	87	70	83	78	78	939
令和2年度	実利用者数	34	33	33	34	34	33	32	31	31	32	33	33	33	33	393
	延利用者数	49	49	100	104	96	59	96	94	73	74	90	100	83	83	984

※8月はコロナによる閉所の為、3回の開催。

# 糸島市社会福祉協議会デイサービスセンターそれいゆ

## 1 総括

本年度は、前年度と比較すると実利用者数に変化は見られなかったが、延べ利用者数が減少した。新規利用者数は14名（要介護13名要支援1名）と事業所規模に対して少なく、新型コロナウイルスの影響で利用自粛される方が見受けられたため利用者増にはつながらなかった。

また、あごらデイでのコロナウィルス感染の発生事例に伴い急遽それいゆデイで利用者を数名受け入れを行ったことや、お盆帰省中の利用者家族が新型コロナウイルス感染陽性となり利用者自身も感染し、保健所の指導により6日間の休業を行うなど現場が混乱する時期もあった。

生活介護（共生型）に関しては、宿泊サービス（自主事業）とセットで生活介護を利用される方が多かった。

現在も依然として新型コロナウイルス感染症の影響で外出行事やカラオケ・カードゲーム、ボランティアの受け入れなど制限しており、利用者もストレスが溜まっていることと思われるが、再開時期については慎重に判断していく必要がある。

## 2 実績

### (1) 介護日数

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	30	31	30	31	25	30	31	30	28	28	28	31	353

### (2) 要介護度別登録者数及び利用者数（述べ件数）

単位：人

認定区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
															月平均
事業対象者	実利用者数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1	1.9	23
	延利用者数	8	8	10	7	8	10	9	9	10	9	9	4	8.4	101
要支援1	実利用者数	5	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4	4	4.8	58
	延利用者数	22	23	23	23	18	22	19	21	19	19	15	20	20.4	245
要支援2	実利用者数	9	8	7	7	7	7	8	7	8	8	6	7	7.4	89
	延利用者数	77	63	52	61	43	47	66	55	50	54	41	57	55.5	666
要介護度1	実利用者数	12	12	11	12	13	12	11	10	10	11	11	12	11.4	137
	延利用者数	149	154	139	153	128	142	142	136	130	132	138	153	141.3	1,696
要介護度2	実利用者数	7	9	11	11	11	11	13	13	9	10	11	11	10.6	127
	延利用者数	108	111	144	151	126	146	167	143	84	103	103	106	124.3	1,492
要介護度3	実利用者数	8	8	8	8	9	9	7	10	10	9	8	9	8.6	103
	延利用者数	102	120	128	131	102	138	95	130	130	122	107	102	117.3	1,407
要介護度4	実利用者数	4	3	3	4	3	3	3	4	3	3	3	3	3.3	39
	延利用者数	33	22	25	27	28	30	22	27	23	23	23	25	25.7	308
要介護度5	実利用者数	2	3	3	3	3	3	3	2	2	2	2	2	2.5	30
	延利用者数	7	38	41	37	21	35	17	25	27	26	30	20	27	324
令和3年度計	実利用者数	49	50	58	52	53	52	52	53	49	50	47	49	51.2	614
	延利用者数	506	539	562	590	474	570	537	546	473	488	466	487	520	6,238
令和2年度計	実利用者数	58	55	59	58	53	52	54	53	54	51	46	48	53.4	641
	延利用者数	585	574	686	645	564	516	563	538	523	398	479	540	550.9	6,611

### (3) 泊まり（自主事業）

( )内の数字は要介護3以上

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	0	4	4	2	0	1	4	4	1	2	4	4	30
実利用者数	0	2	2	2	0	1	3	4	1	2	2	2	21
延利用者数	0	4	4	2	0	1	4	6	1	2	4	4	32

### (4) 生活介護（共生型）

単位：人

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
実利用者数	1	1	1	1	1	1	1	2	1	1	1	1	13
延利用者数	1	1	1	1	2	1	1	3	1	1	1	1	15

# 糸島市社会福祉協議会      デイサービス「福寿苑」

## 1 総括

令和3年度は、登録者が前年度より2名増となったが、新規利用者の獲得は厳しい状況であった。

新型コロナウイルス感染拡大による緊急事態宣言の影響で、利用者への活動自粛も引き続き行った。令和4年1月上旬には職員が新型コロナウイルス陽性者の濃厚接触者になった影響で、PCR検査の結果が出るまで2日間休業した。また、昨年同様局地的な豪雨や台風による避難指示発令のため利用時間短縮も行った。

経営面での業務改善は、職員の配置人数の見直しや業務内容等を精査し、新たな改善箇所については、スタッフに協力を求めながら改善を行った。

## 2 実績

### (1) 介護日数

単位：日

	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	計
稼働日数	27	28	26	27	24	26	26	26	26	22	24	27	309

### (2) 要介護度別登録者数及び利用者数（延べ件数）

単位：人

認定区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数		
														延べ	月平均	
事業対象者	実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延べ利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
要支援1	実利用者数	3	4	4	4	4	3	3	3	2	1	1	1	33	3	
	延べ利用者数	12	19	17	17	15	14	16	17	7	4	4	4	146	12	
要支援2	実利用者数	2	2	2	2	1	1	1	2	2	1	1	2	19	2	
	延べ利用者数	17	16	17	14	7	1	4	17	17	6	6	16	138	12	
要介護度1	実利用者数	7	6	6	6	6	6	7	5	6	6	5	6	72	6	
	延べ利用者数	78	84	75	86	74	86	86	56	63	60	54	71	873	73	
要介護度2	実利用者数	5	4	4	4	4	4	4	4	5	5	4	3	50	4	
	延べ利用者数	44	43	45	54	36	38	30	45	57	56	53	51	552	46	
要介護度3	実利用者数	1	1	0	2	2	2	2	2	2	3	3	3	23	2	
	延べ利用者数	16	9	0	16	15	11	12	16	15	22	22	24	178	15	
要介護度4	実利用者数	1	1	1	1	0	0	0	1	2	2	1	2	12	1	
	延べ利用者数	14	13	12	10	0	0	0	7	11	9	2	15	93	8	
要介護度5	実利用者数	2	2	2	1	1	2	2	2	2	2	2	2	22	2	
	延べ利用者数	22	21	20	14	11	20	17	13	15	12	20	23	208	17	
令和3年度計	実利用者数	21	20	19	20	18	18	19	19	21	20	17	19	231	19	
	延べ利用者数	203	205	186	211	158	170	165	171	185	169	161	204	2,188	182	
令和2年度計	実利用者数	19	17	17	17	15	16	17	17	20	19	20	21	215	18	
	延べ利用者数	180	180	202	194	175	150	180	170	182	164	194	221	2,192	183	

### (3) 生活介護（共生型）

単位：人

共生型		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
														延べ	月平均
														実利用者数	0
延べ利用者数	0	0	0	13	12	9	14	13	8	6	3	5	83	7	

## ④障がい居宅介護事業

### 糸島市社会福祉協議会ヘルパーステーション（障がい居宅介護事業）

#### 1 総括

令和3年度は、新型コロナウイルス感染拡大の影響もあったが少しずつ新規の依頼も増加している。重度訪問介護サービスの提供時間も増加し、2名体制でのサービス提供であるため、従業員の確保も課題になっている。より安心・安全に支援できるよう、喀痰等吸引の有資格者を12名に増やし、多様なニーズに対応できるように努める。

#### (1) サービス内容別利用者数及び提供時間

単位：時間

支援内容/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間数
身体介護 時間	83.2	87.5	77.0	65.1	76.5	78.0	107.7	124.9	92.1	103.6	101.5	152.5	1,149.6
生活援助 時間	214.2	222.5	220.2	208.5	210.5	147.0	147.5	122.3	139.0	140.3	127.3	157.5	2,056.8
移動支援 時間	14.5	4.5	4.5	14.0	0.0	14.5	15.0	15.5	12.5	11.5	2.0	12.0	120.5
行動援護 時間	2.0	1.5	4.0	2.0	0.0	2.0	7.0	14.5	1.0	1.5	2.0	1.5	39.0
同行援護 時間	44.0	40.0	30.5	40.5	34.5	32.0	60.5	50.0	54.5	44.0	28.5	62.3	521.3
重度訪問 時間	72.2	74.4	74.5	79.2	63.5	49.0	74.5	72.5	121.2	104.2	93.0	128.0	1,006.2
令和3年度計	430.1	430.4	410.7	409.3	385.0	322.5	412.2	399.7	420.3	405.1	354.3	513.8	4,893.4
令和2年度計	516	468.7	516.3	540.1	506.5	464.2	495.9	447.6	500.3	417.2	411.8	461.2	5,746.0

#### (2) 障害程度区分別利用者数

単位：人

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	延べ
区分なし	1	1	1	1	0	1	1	1	1	1	1	1	1	11
障害程度区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
障害程度区分2	6	6	6	7	6	5	4	3	3	3	3	3	4.6	55
障害程度区分3	8	8	8	9	8	8	8	8	8	8	8	8	8.1	97
障害程度区分4	2	2	2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.3	15
障害程度区分5	4	4	4	4	4	4	5	5	5	5	5	5	4.5	54
障害程度区分6	2	1	1	1	1	2	3	3	3	3	3	4	2.3	27
令和3年度計	23	22	22	23	20	21	22	21	21	21	21	22	21.6	259
令和2年度計	26	23	24	25	25	23	23	24	22	21	19	21	23.0	276



## 糸島市社会福祉協議会二丈ヘルパーステーション（障がい居宅介護事業）

### 1 総括

令和3年度は利用者数は微増にとどまるものの、入浴支援などの身体介護の時間数を大きく延ばすことができた。

また、前年度からの利用者についても安定的に利用して頂く事ができ、収入面でも延ばす事ができた。実際の利用には至っていないが、打診いただくケースも徐々に増えてきており、今後も積極的に支援につなげて行けるよう努める。

### 2 実績

#### (1) サービス内容別提供時間

単位：時間

支援内容/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間数 (年)
身体介護 時間	13.0	28.5	20.5	9.0	19.5	13.0	8.0	30.0	30.0	30.0	27.0	37.0	265.5
生活援助 時間	24.0	21.0	25.0	24.0	19.0	23.5	24.5	24.0	25.0	23.0	17.5	31.0	281.5
同行援護 時間	4.0	3.0	3.0	4.0	2.0	5.0	4.0	3.0	4.0	3.0	3.0	8.0	46.0
令和3年度計	41.0	52.5	48.5	37.0	40.5	41.5	36.5	57.0	59.0	56.0	47.5	76.0	593.0
令和2年度計	39.0	37.0	40.0	37.5	30.0	37.5	41.0	36.0	33.0	28.0	31.0	29.0	419.0

#### (2) 障害程度区別利用者数

単位：人

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	延べ
障害程度区分1	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
障害程度区分2	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1.0	12
障害程度区分3	4	4	4	4	4	4	4	3	3	3	3	3	3.6	43
障害程度区分4	1	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	1.9	23
障害程度区分5	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	1	2	1.1	13
障害程度区分6	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0.0	0
不明・区分なし その他	0	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	0.5	6
令和3年度計	7	8	8	8	8	8	9	8	8	8	8	9	8.1	97
令和2年度計	7	7	8	8	8	7	7	7	6	6	6	7	7.0	84

# 糸島市社会福祉協議会志摩ヘルパーステーション（障がい居宅介護事業）

## 1 総括

令和3年度は、新型コロナウイルス感染症の拡大が数回に渡って見られたが、影響を受けることなく利用者増となった。

障がい別で見ると、精神疾患の方が依然多く、服薬の確認や、調理、生活環境の調整など、生活上の見守りが必要な方が多く、生活援助時間数にも反映している。

新型コロナウイルス感染予防対策では会話を控えるなどの指導があり実践した。また、通所介護の利用ができない状況の方も多く発生し、訪問介護サービスが利用者の在宅生活の維持に必要な不可欠なサービスであることを再確認することができた。

## 2 実績

### (1) サービス内容別提供時間

単位：時間

支援内容/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	時間数(年)
身体介護 時間	17.0	16.0	15.0	11.0	5.0	11.5	16.5	21.0	21.5	23.0	23.0	21.0	201.5
生活援助 時間	134.0	142.0	159.5	170.0	173.0	175.5	179.0	173.5	171.0	160.0	163.0	175.0	1,975.5
同行援護 時間	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0	0.0
令和3年度計	151.0	158.0	174.5	181.0	178.0	187.0	195.5	194.5	192.5	183.0	186.0	196.0	2,177.0
令和2年度計	160.5	164.5	169.0	162.5	149.5	149.5	158.5	148.5	144.0	126.0	144.5	160.0	1,837.0

### (2) 障害程度区分別利用者数

単位：人

認定区分/月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
													月平均	延べ
障害程度区分1	0	0	1	1	1	1	0	0	0	0	0	0	0.3	4
障害程度区分2	5	5	6	7	7	7	7	6	7	7	7	7	6.5	78
障害程度区分3	4	4	4	5	5	5	5	5	5	5	5	5	4.8	57
障害程度区分4	5	5	5	5	4	4	4	4	4	4	4	4	4.3	52
障害程度区分5	3	2	2	3	2	2	2	3	3	2	2	2	2.3	28
障害程度区分6	0	0	0	0	0	1	1	1	1	1	1	1	0.6	7
令和3年度計	17	16	18	21	19	20	19	19	20	19	19	19	18.9	226
令和2年度計	16	16	15	17	16	16	15	16	17	16	17	16	16.0	192

## ⑤障がい者生活介護事業

### 糸島市社会福祉協議会デイサービスセンター（基準該当生活介護）

#### 1 総括

基準該当生活介護において、新型コロナウイルス感染症を危惧され、デイサービスを一時的、或いは長期欠席される方が見受けられたが、今年度は3名の新規利用者があり、昨年度より利用者増となった。

現利用者の状況としては、登録者数は15名、年齢層は30歳～60歳代となっているが、今後も障害相談支援センターの担当者と連携を図り、新規利用者の獲得、利用者数の増・収益の改善に努める。

#### 2 実績

##### (1) 障害程度区分別登録者数及び利用者数（延べ件数）

単位：人

認定区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数		
															月平均	延べ
障害程度区分1	実利用者数															
	延利用者数															
障害程度区分2	実利用者数															
	延利用者数															
障害程度区分3	実利用者数	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	36	
	延利用者数	19	13	17	20	2	21	26	18	19	17	17	19	18	226	
障害程度区分4	実利用者数	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	2	24	
	延利用者数	26	25	26	26	7	26	26	26	24	23	24	28	26	313	
障害程度区分5	実利用者数	2	2	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	34	
	延利用者数	32	38	38	31	17	21	19	31	30	23	26	26	25	357	
障害程度区分6	実利用者数	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	3	3	30	
	延利用者数	21	21	21	21	22	20	48	50	37	43	24	43	43	414	
令和3年度計	実利用者数	9	9	10	10	10	10	11	11	11	10	10	10	10	121	
	延利用者数	98	97	102	98	48	88	119	125	110	106	91	116	100	1,198	
令和2年度計	実利用者数	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	9	108	
	延利用者数	82	78	106	105	78	89	106	87	89	79	84	96	90	1,079	

##### (2) 利用者状況（障害区分、年齢）

単位：人

認定区分/月	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計
身体障害			1	2	5	3	11
知的障害				1		1	2
精神障害							0
計	0	0	1	3	5	4	13

##### (3) 地域状況

単位：人

	前原地区	二丈地区	志摩地区	計
利用者数	11	1	1	13

# 障がい者生活介護事業所ひまわり

## 1 総括

令和3年度は11月に2名、新規申し込みの依頼があった。令和3年度は特別支援学校からの実習生が1名あり、その実習生が令和4年度からの利用へとつながった。体験利用が新規利用者へとつながったこともあり、今後も実習生や体験利用の受け入れを積極的に行う。

新型コロナウイルス感染症の影響で職員数が厳しい時期もあったが、閉所することなく通常通り営業を行うことができた。延べ実利用者数は2,135人と令和2年度の1,978人と比較すると増加している。

外部講師による音楽療法も定着しており、利用者の楽しみの一つになっている。今後も利用者の満足度を高めることができるよう活動内容の充実に努める。

## 2 実績

### (1) 障害程度区分別登録者数及び利用者数（延べ件数）

単位：人

認定区分/月		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	実利用者数	
															月平均
障害程度区分1	実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害程度区分2	実利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	延利用者数	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
障害程度区分3	実利用者数	1	1	1	1	1	1	1	2	2	1	1	1	1	14
	延利用者数	13	13	15	18	15	17	17	21	19	4	4	5	13	161
障害程度区分4	実利用者数	3	3	3	3	3	2	2	2	2	3	3	3	3	32
	延利用者数	19	19	18	20	25	10	6	8	6	25	23	24	17	203
障害程度区分5	実利用者数	2	2	2	2	2	2	2	3	3	3	3	3	2	29
	延利用者数	24	23	24	23	21	19	17	24	31	29	29	39	25	303
障害程度区分6	実利用者数	10	10	10	11	11	11	10	11	10	9	10	9	10	122
	延利用者数	106	112	123	131	116	121	135	138	130	122	115	119	122	1468
令和3年度計	実利用者数	16	16	16	17	17	17	16	19	18	17	17	18	17	204
	延利用者数	162	167	180	192	177	167	175	191	186	180	171	187	178	2135
令和2年度計	実利用者数	17	14	15	19	18	18	18	17	16	15	17	18	17	202
	延利用者数	169	178	151	181	174	158	178	165	163	130	153	178	165	1978

### (2) 利用者状況（障害区分、年齢）

単位：人

認定区分/月	10代	20代	30代	40代	50代	60代以上	計
身体障害	0	3	3	2	1	0	9
知的障害	0	4	4	0	0	1	9
精神障害	0	0	0	0	1	1	2
計	0	7	7	2	2	2	20

### (3) 地域状況

(単位：人)

	前原地区	二丈地区	志摩地区	福岡市西区	計
利用者数	11	1	8	0	20

